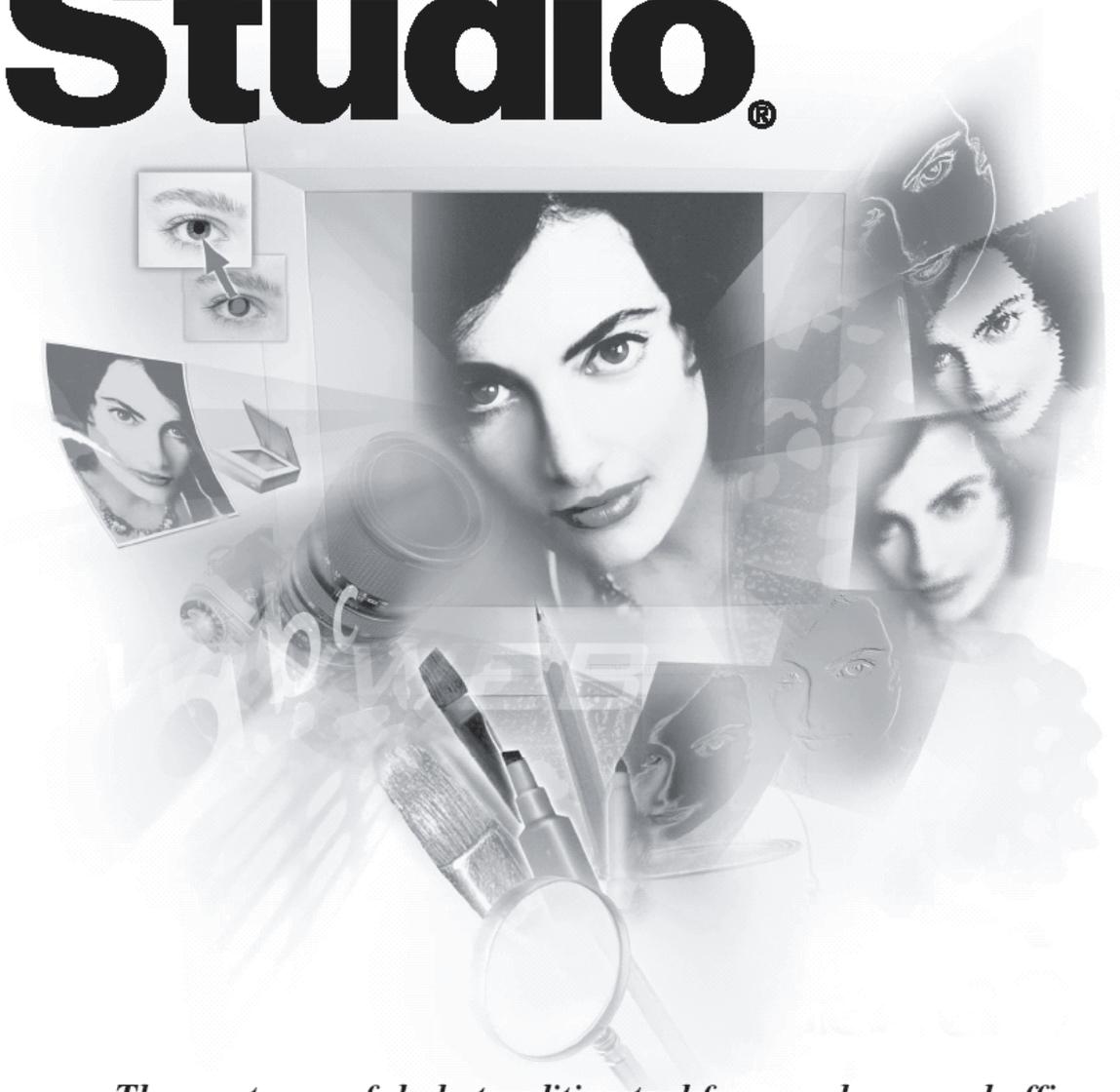


ArcSoft **photo**
Studio®



The most powerful photo editing tool for your home and office

ユーザーズマニュアル



エンドユーザーライセンス合意

以下はソフトウェアのエンドユーザーであるユーザーと ArcSoft, Inc との法的ソフトウェアライセンス合意書です。製品を使用する前にこのライセンス合意をよくお読みください。製品を使用することにより、ユーザーがこのライセンス合意を読み、その条件に合意したとみなします。

1. ライセンスの許諾：

このライセンスは、このパッケージに含まれているソフトウェアの1つのコピーをユーザーが一台のコンピュータで使用することを許可します。各ソフトウェアのライセンス所有者は、いかなる場合もプログラムを一台のコンピュータでのみ“使用中”にすることができます。ソフトウェアは、RAM にロードされている場合、またはハードドライブ、あるいはその他の常設メモリにインストールされている場合に“使用中”とみなされます。プログラムを他のコンピュータへ分配するという単独目的でネットワークサーバーへインストールする場合は、ArcSoftからの特別ライセンス許諾が必要です。

2. 著作権：

このパッケージに含まれるソフトウェアは ArcSoft の所有物で、米国著作権法、国際条約規定、およびすべての他の適用可能な国のすべての法律により保護されています。ソフトウェアは、以下の二つの例外を除き、すべての他の著作権を有する物（例えば、本や音楽録音）と同様に扱う必要があります。このライセンスでは、ソフトウェアを貸す、またはリースすることを禁止しています。また、（それがあある場合）ソフトウェアに付随する文書を複製することも禁止されています。

3. 限定保証：

ArcSoft, Inc. は、ここに含まれるソフトウェアが付随する文書に従い実質的に動作し、原料または製作品に欠陥が無いことを保証します。その他の保証はありません。ArcSoft は、ソフトウェア、付随する文書および（それがあある場合）付随するハードウェアに関して、商業価値および特定の目的に対する適合性保証を含むがこれに限定されず、明示的なあるいは黙示的な保証は一切していません。

4. 結果責任放棄：

結果として発生した損害に対する責任は負いません。いかなる場合も ArcSoft またはそのサプライヤーは、ArcSoft, Inc. が損害の可能性を勧告されていた場合にも、このソフトウェアを使用できないために生じる損害（営利喪失、業務中断、業務情報の損失、またはその他の金銭上の損失を含むがこれに限定されない）に関して一切責任を負いません。一部の州 / 裁判管轄区では、結果的または偶発的な損害に対しての例外や有限が認められていないため、上記の制限が適用されない場合もあります。

5. 米国政府限定権利(U.S. Government Restricted Rights):

ソフトウェアおよび文書は限定権利とともに提供されています。米国政府による使用、複製または開示は、適用可能な DFARS 252.227-7013 のテクニカルデータおよびコンピュータソフトウェア条項の(c)(1)(ii)項、または 48 CFR 52.227-19 の商用コンピュータソフトウェアの限定権利の(c)(1)、(2)、(3)項、およびそれに追加される修正事項に示す制限を受けます。メーカーは、ArcSoft, Inc., 46601 Fremont Blvd, Fremont, CA 94538 です。

この製品が米国内で購入された場合、この合意はカリフォルニア州法により統治され、それ以外の場合は、購入地の法律が適用される場合があります。

Copyright 1994-2002, ArcSoft, Inc. All rights reserved.

本ユーザーズマニュアルおよびソフトウェアは、エンドユーザーライセンス合意書に基づいて提供されています。ソフトウェアは、ライセンス合意書に基づいてのみ複製が可能であり、なおかつマルチユーザー版のライセンス契約のない限り、単一コンピュータでの使用以外は、認められません。本マニュアルの複製は、ArcSoft, Inc. の書面による許諾の無い限り、禁じられています。

PhotoStudio(R) は、ArcSoft, Inc. の登録商標です。

その他の全てのブランド名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

クレジット

ライティング：Jack Jie Zheng

エディター：Steve Toribio

デザイン&レイアウト：Chiachi Vickie Wei

ArcSoft 連絡先

アークソフト製品、サービス内容に関するご質問は、下記の【メイン】宛にお問い合わせ下さい。

テクニカルサポートに関するご質問は、役立つ情報満載の弊社ウェブサイト（www.arcsoft.jp）へアクセスしていただければ、FAQ や PDF マニュアル/アップデートのダウンロード、Eメールによる問い合わせフォームなどをご利用いただけます。直接、アークソフト製品に関する技術的なご質問を行なわれる場合は、下記の【テクニカルサポート】宛にお問い合わせ下さい。

ご質問いただく前にあらかじめユーザー登録くださいますようお願い申し上げます。また、お問い合わせに対して、的確なご回答ができるようにおあらかじめ下記の点をご確認下さい。

1. お客様の連絡先（お名前、Eメールアドレス、御住所、電話番号）
2. アークソフト製品名
3. 具体的な問題点または疑問点
4. エラーメッセージに関するご質問の場合は、具体的なエラーメッセージの内容
5. ご使用の OS（Windows98/Me/2000/XP など）
6. 接続されている周辺機器（スキャナやプリンタなど）

【メイン】

アークソフト株式会社

〒135-0064

東京都江東区青海 2-45 タイム 24 ビル 4F（東-3）

URL: <http://www.arcsoft.jp>

Email: sales@arcsoft.jp

営業時間：9:30 ~ 18:00

TEL: 03-3599-0371

FAX: 03-3599-0373

【テクニカルサポート】

アークソフト株式会社 サポートオフィス

〒101-0021

東京都千代田区外神田 5-1-15 IKE ビル 3F

Email: support@arcsoft.jp

営業時間：月曜～金曜日（土日祝日除く）

10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 18:00

TEL: 03-3834-5256

FAX: 03-5816-4730

第1章 はじめに

1. PhotoStudio へようこそ	1-2
2. PhotoStudio について	1-2
3. PhotoStudio の特長	1-2
4. このマニュアルについて	1-4
5. ソフトウェアのユーザー登録	1-4

第2章 デスクトップの概略

1. PhotoStudio の起動方法	2-2
2. PhotoStudio のデスクトップ画面上の主なコンポーネント	2-2
3. デスクトップコンポーネントの表示 / 非表示の切替	2-8
4. アルバムパレットの「開く」「閉じる」.....	2-8
5. デスクトップコンポーネントの位置調整	2-9

第3章 編集コマンドの基本

1. 元に戻す / やり直し	3-2
2. 画像データの復元	3-2
3. 選択範囲の配置替え	3-2
4. 選択範囲の切り取り	3-3
5. 選択範囲のコピー	3-3
6. 選択範囲の貼り付け	3-4
7. 選択範囲の削除	3-4
8. 画像の回転	3-5
9. 選択範囲の変形	3-5
10. 画像方向の変更	3-6
11. 画像のトリミング	3-6
12. ボーダーの追加	3-7
13. 画像サイズと解像度の変更	3-7
14. ショートカットキー	3-7

第4章 画像を開く / 取込み / 作成

1. ディスクドライブから画像を開く	4-2
2. アルバムパレットから画像を開く	4-2
3. TWAIN 対応機器から画像を取り込む	4-3
4. 画面のスクリーンショットを取る	4-3
5. 新規画像ファイルを作成する	4-4

第5章 画像の表示

1. 標準的な画像表示モード	5-2
2. 拡大 / 縮小表示	5-2
3. パンツール及びスクロールバー	5-3
4. ルーラー / グリッドの表示	5-3
5. ナビゲーションパレット	5-4
6. 複数画像の表示	5-4

第6章 選択範囲の作成

1. 定型範囲の選択	6-2
2. 自由形状の選択	6-2
3. 多角形選択範囲	6-3
4. カラーによる選択範囲の設定	6-3
5. 選択範囲の変更	6-4

第7章 カラーパレット

1. 描画色と背景色の変更方法	7-2
2. カラー画像のグレースケール画像への変換方法	7-2

第8章 ペイント / レタッチツール

1. ブラシツールの選択	8-2
2. ブラシサイズの新規作成&削除	8-2
3. ペイントブラシツールの使用	8-3
4. スプレーペイントツールの使用	8-3
5. ペンツールの使用	8-3
6. 線ツールの使用	8-4
7. 消しゴムツールの使用	8-4
8. 広範囲塗りつぶしツールの使用	8-4
9. 階調塗りつぶしツールの使用	8-5
10. パターン塗りつぶしツールの使用	8-5
11. スポイトツールの使用	8-6
12. スタンプツールの使用	8-6
13. スマッジツールの使用	8-7
14. 形状ツールの使用	8-7
15. クローンツールの使用	8-7
16. レッドアイ除去ツールの使用	8-8
17. カラーでの塗りつぶし	8-8

第9章 画像の色調補正

1. 自動補正の使用	9-2
2. 明るさ・コントラストの調整	9-2
3. 色合い・鮮やかさの調整	9-3
4. トーンの調整	9-3
5. 均一化の使用	9-4
6. しきい値の使用	9-4
7. アンシャープマスクの使用	9-5
8. 色調補正ギャラリー	9-6

第10章 特殊効果

- 1. パノラマ画像の作成 10-2
- 2. 油絵風効果 10-2
- 3. モーションぼかし効果 10-2
- 4. 特殊効果ギャラリー 10-3

第11章 テキスト加工

- 1. テキストレイヤーの作成 11-2
- 2. 文字編集 11-3
- 3. 影付け加工 11-3

第12章 アルバム

- 1. アルバムの作成 12-2
- 2. アルバム内での検索機能 12-2
- 3. アルバムから画像を開く 12-3
- 4. アルバム内の画像の管理 12-3

第13章 レイヤー機能

- 1. レイヤーについて 13-2
- 2. レイヤーパレットの使用方法 13-2
- 3. 複数画像間のレイヤー情報のコピーと貼り付け 13-3
- 4. レイヤーの結合 13-4

第14章 マクロ機能

- 1. マクロの作成 14-2
- 2. マクロの適用 14-3
- 3. バッチ処理 14-3

第15章 保存と印刷

- 1. ファイル名やファイル形式を指定して保存 15-2
- 2. ウェブ用に画像を保存 15-2
- 3. 画像を印刷 15-3

本章では、ArcSoft PhotoStudio に搭載されている主な機能、システム動作条件、インストール方法などについて、おおまかにご説明いたします。

目次：

1. PhotoStudio へようこそ	1-2
2. PhotoStudio について	1-2
3. PhotoStudio の特長	1-2
4. このマニュアルについて	1-4
5. ソフトウェアのユーザー登録	1-4

ArcSoft PhotoStudio へようこそ

この度は、ArcSoft PhotoStudio をご購入いただきまして誠に有難うございます。

本ソフトウェアは、初心者の方でもプロフェッショナルユーザーの方でも、また、ホームユース、ビジネスユースを問わず、ご期待にお応えできる製品です。

PhotoStudio について

PhotoStudio は、Macintosh 用の使いやすくパワフルなデジタルイメージ編集ソフトウェアです。本ソフトウェアにより、フルカラー画像の取り込み、編集、色調補正、加工、印刷などをデジタルイメージ編集の経験の有無に関らず、PhotoStudio が画像編集において如何に役立つソフトウェアであるか、すぐにお分かりいただけたらと思います。

PhotoStudio の特長

以下は、PhotoStudio の主な機能です：

- 1) イメージを開いたり、作成するための方法が複数用意されています。
 - ・ 新規画像の作成
 - ・ ディスクドライブやカードリーダーからの既存の画像の取り込み
 - ・ PhotoStudio アルバムからの取り込み
 - ・ デジタルカメラやスキャナなどの TWAIN 対応機器からの直接取り込み
 - ・ コンピュータ画面のキャプチャー
- 2) 一般的な画像形式のサポートと画像の転送機能
 - ・ .PSF (PhotoStudio 専用のファイル形式)、Windows Bitmap (BMP)、JPEG (JPG)、Tagged Image File (TIF)、PICT、PhotoShop (PSD) ファイル形式の画像を開く機能
 - ・ .PSF (PhotoStudio 専用のファイル形式)、Windows Bitmap (BMP)、JPEG (JPG)、Tagged Image File (TIF)、PICT ファイル形式で画像を保存する機能
- 3) ユーザーフレンドリーで強力なグラフィカルユーザーインターフェイスを提供します。
 - ・ 画面の右側に頻繁に使用するツールやオプション、コマンドを配置
 - ・ デスクトップのコンポーネントの表示/非表示を切り替えたり、パレットのサイズ/位置を変更して、デスクトップの最適化をはかることができます。
 - ・ ウィンドウや各ツールバーなどを簡単なドラッグ&ドロップ操作で複数の画像を同時に画面に表示させることができます。
 - ・ 画像ごとに異なる表示モードで見ることができます。(100%、ウィンドウに合わせて表示、全画面表示)
 - ・ 複数の画像をそれぞれ異なる比率で拡大、縮小表示させて、細かな部分をピクセル単位で編集したり、描画することができます。
- 4) 豊富なコマンド、オプション、ツール、補正ツール、効果コマンドが用意されており、デジタルイメージ編集を強力にサポートします。
 - ・ 形状や色に基づいた選択範囲の作成
 - ・ 同一画像内または複数の画像間での選択画像の切り取り、コピー、貼り付け

- ・ 同一画像内または異なる画像の特定部分に画像の複製を繋ぎ目なく作成
 - ・ 2つの画像を垂直または水平方向につなげて、パノラマ画像を作成
 - ・ フラッシュ撮影な画像の形、大きさ、方向、枠線の変更
 - ・ 画像上での特定形状の描画やペイント
 - ・ 画像ファイルにラベルやキャプションを添付できるほか、特定の方向へのピクセルのにじみ効果、ぼかし/シャープツールや明暗ツールなど、様々なカラーやパターン、グラデーションで画像を塗りつぶしたり、定義済みの形状で画像をスタンプ化することもできます。
 - ・ 輝度やコントラスト、色相、彩度、トーン、カラーを様々なフィルタを使用して調整することができます。
 - ・ 油絵、スケッチ、フィルム粒子、はね散り、溶解、波紋、しわ、3Dグリッド線、モザイク、エンボス、魚眼、円錐状、球状、渦巻き状、らせん状、円柱状、リボン、マジックミラーなどの特殊効果、ユーザー定義フィルタを使用してオリジナルの特別フィルタ効果を演出
- 5) カスタマイズ可能なアルバムパレットを使って、視覚的に簡単に複数の画像にアクセスすることができます。
- ・ 様々な情報を含んだ画像をまとめたアルバムの新規作成、保存
 - ・ 画像の保存、デジタルカメラやスキャナーから直接アルバムに画像を登録可能
 - ・ 定義済みのマクロ(第14章:マクロをご参照下さい)を使った複数の画像に対するバッチ処理(一括処理)
 - ・ ダブルクリックやドラッグアンドドロップ操作でPhotoStudioデスクトップ画面に画像を開くことが可能
 - ・ サムネール画像の印刷が可能
- 6) レイヤーパレットにより、編集中の画像に含まれるすべてのレイヤーを表示させることができます。
- ・ 複数レイヤーを持つ画像の作成
 - ・ 画像への新規レイヤーの画像内のレイヤーの複製やコピー
 - ・ レイヤーの名称変更や順序変更
 - ・ レイヤーの削除や結合
- 7) マクロコマンドを使用すると、複雑な編集コマンドや強調、特殊効果な編集コマンド、強調コマンド、効果コマンドをマクロ定義として作成することができます。
- ・ マクロを使用すれば、まったく同一の編集コマンドや強調コマンド、効果コマンドの設定値を繰り返して実行することができます。
 - ・ バッチ処理(一括処理)によりアルバム内にある複数の画像に対して同じ色調補正や効果の作業時間を減らすことができます。
- 8) 複数の出力機能を備えています。
- ・ 画像を選択した用紙内のお好みの位置にお好みのサイズで印刷することができます。カスタマイズしたタイトルやフレームをPhotoStudioから画像を直接メールソフトに添付させることができます。
 - ・ 画像をリアルタイムで編集する様子をリアルタイムでプレゼンテーションできます。
- 9) 分かりやすいオンラインヘルプで素早く簡単に操作方法を学ぶことができます。
- メインメニューにあるヘルプを呼び出すことにより、簡単に素早くヘルプ情報を得ることができます。

このマニュアルについて

このマニュアルは、アプリケーションの主な機能とパワフルなツール群、機能群の使い方について解説しています。

本マニュアルは、MacOS オペレーティングシステムの操作方法の知識がある方、例えば、マウスの操作や標準的なメニューバーやコマンドの使い方、ファイルの開き方や保存方法などに習熟された方を前提に記載されています。MacOS オペレーティングシステムの操作方法については、MacOS 添付のマニュアルをご参照下さい。ArcSoft PhotoStudio についてもっと詳しくお知りになりたい場合は、メインメニューにあるヘルプを選択して、関連情報をご参照下さい。

ソフトウェアのユーザー登録

PhotoStudio や画像編集の操作手順に進んでいただく前にEメールやインターネット、ファックス、普通郵便などによりユーザー登録を行なって下さい。ご登録ユーザー様は、技術サポートや重要なソフトウェアアップデートについての情報、革新的な新製品情報、ご優待割引販売のご案内などをお受けいただくことができます。

重要: インストール作業中にソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。インストール作業を進めるためにはこの契約書の各条項にご同意いただく必要があります。契約書にご同意戴ける場合は「はい」をクリックし、その他の場合は「いいえ」をクリックして下さい。
「いいえ」を選択された場合、インストール作業は自動的に中断されます。詳細については、ソフトウェア使用許諾契約書をご参照下さい。

システム動作環境

- ・ PowerPC
- ・ MacOS 8.6 ~ MacOS X
- ・ 50MB 以上のハードディスクの空き領域
- ・ 64MB 以上の RAM (32MB プラス仮想メモリ 使用でも可)
- ・ 16bit 以上のカラー表示環境
- ・ CD-ROM ドライブ
- ・ マウス

PhotoStudio のインストール

PhotoStudio のインストール手順：

- 1) PhotoStudio の CD を CD-ROM ドライブに挿入します。デスクトップ画面に CD-ROM のアイコンが表示されます。
- 2) CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。PhotoStudio タイトルバーの付いたウィンドウが表示されます。
- 3) PhotoStudio ウィンドウ内の PhotoStudio インストーラーのアイコンをダブルクリックします。インストール作業が開始されます。
- 4) 画面の指示に従って、インストール作業を進めて下さい。

本章では、PhotoStudio における主なデスクトップコンポーネントについて記述します。各コンポーネントに関する簡単な解説のほか、デスクトップ画面のカスタマイズ方法についても解説します。

目次：

1. PhotoStudio の起動方法 2-2
2. PhotoStudio のデスクトップ画面上の主なコンポーネント 2-2
3. デスクトップコンポーネントの表示 / 非表示の切替 2-8
4. アルバムパレットの「開く」「閉じる」 2-8
5. デスクトップコンポーネントの位置調整 2-9

PhotoStudio の起動方法

PhotoStudio の起動方法：

- 1) デスクトップ画面に表示されているハードディスクのアイコンをダブルクリックします。
- 2) ハードディスクのウィンドウ内の PhotoStudio フォルダを探して、フォルダアイコンをダブルクリックします。
- 3) PhotoStudio ウィンドウ内の PhotoStudio のアプリケーションアイコンを探して、ダブルクリックします。

PhotoStudio のデスクトップ画面上の主なコンポーネント

本項では、PhotoStudio のデスクトップ画面を構成する主なコンポーネントについてご紹介いたします。また、これらデスクトップコンポーネントの表示 / 非表示切替や位置調整などについて解説します。

PhotoStudio を起動すると、メインメニュー、クイックアクセスバー、アルバムパレット、レイヤーパレット、ツールパレット、ステータスバーなどを確認することができます。PhotoStudio は、デスクトップ画面に複数の画像をそれぞれ独立したウィンドウとして開くことができます。

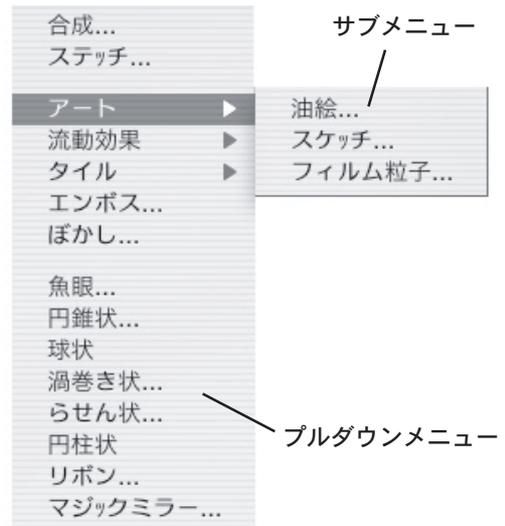
PhotoStudio の主なデスクトップコンポーネントは以下の通りです。

- ・ メインメニュー
- ・ クイックアクセスバー
- ・ インフォメーションパレット
- ・ ツールパレット
- ・ ツールオプションパレット
- ・ レイヤーパレット
- ・ アルバムパレット
- ・ ナビゲーションパレット



メインメニュー

メインメニューには、頻繁に使用されるコマンドやオプションが項目別に「ファイル」「編集」「選択」「レイヤー」「強調」「効果」「変換」「表示」「ウィンドウ」「ヘルプ」「PhotoStudio」に分けられています。各メニューには、コマンドやオプションが含まれています。プルダウンメニュー内のいくつかのコマンドにはさらにサブメニューが用意されている場合があり、サブメニュー内のコマンドやオプションを実行することによって、ダイアログボックスなどが提供されます。



ファイル

ファイルメニューには、画像ファイルを管理したり、操作するためのコマンドが数多く用意されています。「新規作成、開く、復元、閉じる、上書き保存、名前を付けて保存、アルバムを開く、アルバムに追加、スライドショー、キャプチャ、インポート、ソースの選択、プリンタ設定、印刷、終了」の各コマンドが含まれます。

編集

編集メニューには、画像を編集するためのコマンドが用意されています。

編集メニューには、元に戻す、やり直し、切り取り、コピー、貼り付け、クリア、塗りつぶし、トリミング、回転、方向、ボーダーの追加、イメージのサイズ、マクロの選択、マクロの実行、8ビットグレースケール、24ビット天然色、48ビットRGB、分離、組み合わせ、環境設定の各コマンドが用意されています。

選択

選択メニューには、選択範囲を作成したり、修正するためのコマンドが用意されています。すべて、反転、なし、枠線、拡大、スムーズのコマンドが用意されています。基本的に画像の特定の領域に修正を加える場合、選択範囲を作成しておく必要があります。選択範囲は、範囲外の画像に対する過った修正や変更を防止するとともに、任意の範囲だけに効果を適用することができる優れた機能を提供します。「トリミング」ツールのようにあらかじめ選択範囲が作成されていないと、使用することすらできないツールもあります。

レイヤー

レイヤーメニューには、複数のレイヤー付き画像を扱うことができます。レイヤーメニューには、新規、削除、選択したレイヤーを結合、下位レベルに結合、すべて結合、ソフトエッジ、影の追加、プロパティの各コマンドが用意されています。レイヤー機能により、簡単に複雑な画像処理が可能となります。

強調

強調メニューでは、画像の色調補正や各種画像加工を手軽に行なうためのコマンドが用意されています。強調メニューには、自動補正、明るさ・コントラスト、色合い・鮮やかさ、トーンの調節、彩度を下げる、均一化、ネガ、しきい値、フィルタ（滑らか）、フィルタ（シャープ）、フィルタ（スペシャル）、ユーザー定義フィルタが用意されています。自動補正、明るさ・コントラスト、色合い・鮮やかさ、トーンの調節などは、色調補正のためのツールです。これらのコマンドは、画像をレタッチしたり、色調補正したりする際に大変便利です。また、あらゆるレベルのデジタル画像編集を行なう人々にもっとも親しまれている機能でもあります。

効果

効果メニューでは、画像に直接特殊効果を加えることができる各種フィルタコマンドが用意されています。本メニューには、合成、ステッチ、アート、流動効果、タイル、エンボス、モーションぼかし、魚眼、円錐状、球状、渦巻き状、らせん状、円柱状、リボン、マジックミラーが用意されています。各コマンドは、それぞれ異なる効果を演出しますが、その操作方法は基本的に同じです。

表示

表示メニューでは、画像の表示倍率を変更したり、パレットの表示・非表示などを切り替えることができます。このメニューには、100%、拡大、縮小、ウィンドウに合わせて表示、全画面表示、オプションパレットを表示 / 非表示、クイックアクセスバーの表示 / 非表示、情報パレットを表示 / 非表示、ナビゲーションパレットの表示 / 非表示などのコマンドが含まれています。

ウィンドウ

ウィンドウメニューでは、複数の画像ウィンドウを開いている場合に各ウィンドウを管理するコマンドが含まれています。このメニューには、並べて表示、重ねて表示、すべて閉じるの各コマンドが含まれます。このメニューの最下部には、開いている画像ウィンドウ名がリストされています。それぞれの画像ウィンドウ名を選択すると、そのウィンドウが前面に表示されます。

ヘルプ

ヘルプメニューでは、バルーンヘルプの表示と非表示を切り替えることができます（MacOS8.6 および 9 環境）。MacOSX 環境では、ヘルプメニューにより、オンラインヘルプにアクセスすることができます。

PhotoStudio

PhotoStudio を隠す、他を隠す、すべてを表示などのオプションが含まれます。

クイックアクセスバー

頻繁に使用するコマンドやオプションなクイックアクセスバーに用意されており、簡単に利用することができます。クイックアクセスバーにある各アイコンにカーソルを合わせると、そのアイコンのツール名が表示されます。



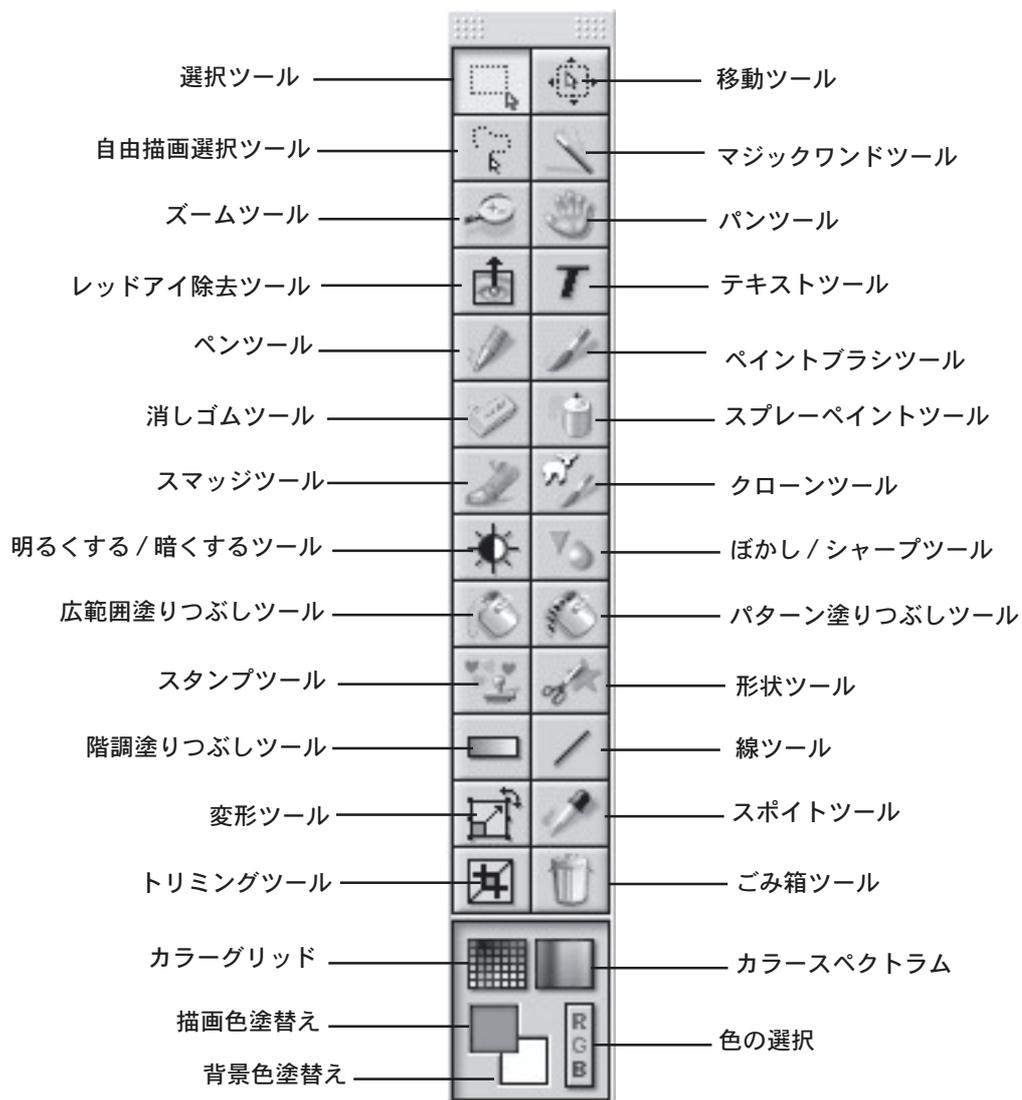
新規作成	新しい画像ファイルを作成する新規作成ダイアログボックスを開きます。
開く	既存の画像ファイルを開くためのオープンダイアログボックスを開きます。
アルバム	PhotoStudio のアルバムパレットを開きます。
取り込み	スキャナーやデジタルカメラからダイレクトに画像を取り込むTWAINインターフェイス画面を表示します。
上書き保存	アクティブの画像ファイルを保存するためのダイアログボックスを開きます。
印刷	アクティブの画像ファイルを印刷するためのダイアログボックスを開きます。
切り取り	選択されている範囲を切り抜きます。
コピー	選択されている範囲をコピーします。
貼り付け	最後に切り取り・コピーした範囲の画像を新規レイヤーとして作成します。
元に戻す	最後に実行した動作を元に戻します。
やり直し	最後に元に戻した動作を再度実行します。
自動補正	素早く画像の色補正を行なうことができます。
効果ブラウザ	特殊効果を簡単にプレビューすることができます。
ステッチ	2つの画像ウィンドウを1つに統合することができます。
再生マクロ	画像ウィンドウにマクロを実行することができます。
ヘルプ	PhotoStudio のオンラインヘルプを開きます。

情報パレット

情報パレットにより、処理中の画像と使用中のツールについての情報を得ることができます。

ツールパレット

ツールパレットには、選択、編集、ドローイング、ペイント、レタッチなどに使用するツールが含まれています。各ツールボタンの上にカーソルを重ね合わせると、情報パレットに各ツールの名称や機能が表示されます。



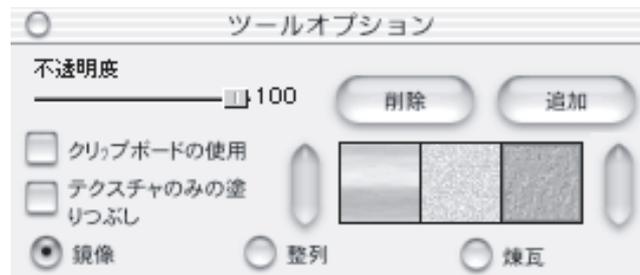
選択ツール	四角形や楕円形のような形状で選択範囲を作成します。
移動ツール	選択範囲内の画像を移動させます。
自由描画選択ツール	自由な形状で選択範囲を作成します。
マジックwandツール	同じ色調の部分を選択範囲として作成します。
ズームツール	画像の拡大 / 縮小表示を行ないます。
パンツール	画像ウィンドウで隠れている部分をドラッグして表示します。
レッドアイ除去ツール	画像内の人物から赤目を取り除きます。
テキストツール	画像にテキストレイヤーをペンツールインクペンと同じような描画を行なうことが出来ます。
ペンツール	鉛筆と同様に描画を行なうことができます。
ペイントブラシツール	ブラシでペイントするのと同じ描画を行なうことができます。
消しゴムツール	ドラッグした軌跡を透明にしたり、他の色に塗り替えます。
スプレーペイントツール	スプレー式のペイント缶と同じように描画できます。

スマッジツール	指先で乾く前の絵の具をぼかしたような効果を得ることができます。
クローンツール	選択した画像のピクセルを別の部分へコピーします。
明るくする／暗くするツール	ドラッグした軌跡を明るくしたり、暗くすることができます。
ぼかし／シャープツール	ドラッグした軌跡をぼかしたり、シャープにすることができます。
広範囲塗りつぶしツール	選択した範囲内を指定したカラーで塗りつぶします。
パターン塗りつぶしツール	選択した範囲内を指定したパターンで塗りつぶします。
スタンプツール	アクティブカラーで定義済みの形状を描画します。
形状ツール	定義済みの形状で画像を切り抜きます。
階調塗りつぶしツール	選択範囲内をグラデーションカラーで塗りつぶします。
線ツール	直線を描画します。
変形ツール	画像の選択範囲を拡大／縮小、回転、湾曲などに変形します。
スポイトツール	クリックした部分のカラーをアクティブカラーに設定します。
トリミングツール	選択範囲を切り抜きます。
ごみ箱ツール	選択範囲の選択を解除することができます。
カラーグリッド	グリッド形状でカラーサンプルを表示します。
カラースペクトラム	カラーサンプルをスペクトラム表示します。
描画色	アクティブカラーを表示します。
背景色	非アクティブカラーを表示します。
色の選択	色の選択ダイアログボックスを表示します。

オプションパレット

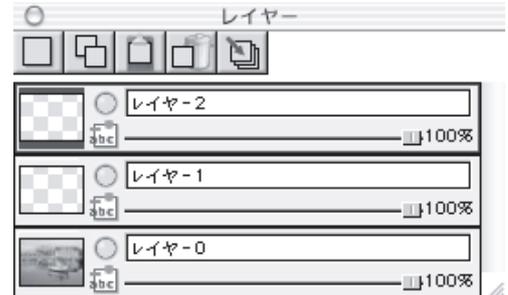
オプションパレットでは、ツールパレットで選択した各ツールごとの詳細な設定を行なうことができます。オプションパレットに表示されている情報や設定項目は、ツールパレットで選択されているツールと直接関係しています。

次の図では、ツールパレット上でパターン塗りつぶしツールが選択されている際のオプションパレットを示します。



レイヤーパレット

レイヤーパレットは、PhotoStudioの中核となるレイヤーを管理します。高度な画像処理を簡単に行なうことができます。レイヤーを使用すると、処理中のレイヤー以外のレイヤーにある画像には一切PhotoStudioの処理が影響せず、複雑な画像を個別に画像処理できます。



右図がレイヤーパレットです。(詳細については、第13章をご参照下さい。)

アルバムパレット

アルバムパレットは、PhotoStudioのユニークな特長の一つです。アルバムパレットを使用すると、画像をダウンロード、検索、ソート、表示、正しい位置で開くことなどが可能となります。



ナビゲーションパレット

ナビゲーションパレットは、PhotoStudio内の画像の見方を調整する強力なツールです。画像を拡大/縮小表示したり、操作でドラッグスクロールさせて、ピクセル単位での画像修正や画像の全体像を掴みたい時などに利用します。



デスクトップ上のパレット類の表示/非表示

PhotoStudioのデスクトップ画面に表示されているパレット類のほとんどで必要に応じて表示/非表示を切り替える

ことができます。各パレットを使用する場合は、その使用の際にはパレット自体がPhotoStudioのデスク

トップ画面に表示されている必要があります。

非表示状態にあるパレットを表示したい場合:

- 1) 表示メニューをクリックします。
- 2) 表示メニューから表示させたい項目を選択します。

表示状態にあるパレットを隠したい場合:

- 1) 表示メニューをクリックします。
- 2) 表示メニューから隠したい項目を選択します。

アルバムパレットの表示/非表示

複数の画像を開く最も簡単な方法は、アルバムパレットを使用する方法です。

アルバムパレットを開く場合、以下の手順に従って下さい:

- ・ クイックアクセスバーにあるアルバムアイコンをクリックする。
- ・ ファイルメニューから「アルバムを開く」コマンドを選択する。

アルバムパレットを閉じる場合、以下の手順に従って下さい:

- 1) アルバムパレットにあるクローズボタンをクリックします。

デスクトップ上のパレット類の配置替え

クイックアクセスバーを除く PhotoStudio の表示メニューにリストされているすべてのデスクトップコンポーネントおよびアルバムパレットは、その配置を変更して作業スペースを確保することができます。

デスクトップコンポーネントの配置替え:

- 1) デスクトップコンポーネントのタイトルバーをドラッグしてお好みの位置に配置させます。

本章では、PhotoStudio でもっとも頻繁に使用する編集コマンドについていくつか解説いたします。

目次:

1. 元に戻す / やり直し	3-2
2. 画像データの復元	3-2
3. 選択範囲の配置替え	3-2
4. 選択範囲の切り取り	3-3
5. 選択範囲のコピー	3-3
6. 選択範囲の貼り付け	3-4
7. 選択範囲の削除	3-4
8. 画像の回転	3-5
9. 選択範囲の変形	3-5
10. 画像方向の変更	3-6
11. 画像のトリミング	3-6
12. ボーダーの追加	3-7
13. 画像サイズと解像度の変更	3-7
14. ショートカットキー	3-7

元に戻す / やり直し

PhotoStudioの元に戻すやり直しコマンドを使用すれば、最後に実行したコマンドやアクションを元に戻したり、再度やり直すことができます。さらにPhotoStudioでは、複数回の元に戻す / やり直しをサポートしており、失敗を恐れずにペイントや各種効果を気軽に行なうことができます。

コマンドを元に戻す方法（3種類）:

- ・クイックアクセスバーのある「元に戻す」ボタンをクリックする
- ・ キー + Zキーを押す
- ・編集メニューから「元に戻す」コマンドを選択する

元に戻した操作をやり直す方法（2種類）:

- ・クイックアクセスバーにある「やり直し」ボタンをクリックする
- ・編集メニューから「やり直し」コマンドを選択する
- ・ キー + Yキーを押す

注意:

- 1) 一連の操作を元に戻したい場合、画像が以前の状態に戻るまで、「元に戻す」コマンドを繰り返して下さい。
- 2) 一連の操作をやり直したい場合、画像がお好みの状態になるまで「やり直し」コマンドを繰り返して下さい。
- 3) 元に戻す / やり直しの最大回数を設定する場合、編集メニューから「環境設定」を選択して下さい。最大回数は、99回まで設定できます。

画像の復元

「復元」コマンドを使用することにより、画像に対して行なった加工や処理をその画像を最後に保存した状態に戻すことができます。

画像の復元方法:

- 1) ファイルメニューをクリックします。
- 2) 「復元」コマンドを選択します。

注意: 「復元」コマンドは、画像に対して何も修正を行っていない場合、選択することができません。

選択範囲の配置替え

選択ツールで特定の範囲を選択した場合、選択範囲を示す点線枠が表示されます。この点線枠が、選択範囲にぴったりと合っていない場合、その点線枠だけを移動させて、囲みたい画像にぴったりとあわせることができます。選択範囲だけを移動させる場合は、点線枠の内側にマウスカーソルを移動させて、お好みの位置までドラッグするだけです。

選択範囲の切り取り

「切り取り」コマンドは、画像から選択範囲内の画像部分を切り取ります。切り取られた画像は、クリップボードに配置され、他の画像に貼り付けたり、他のアプリケーションに流用することができます。

選択範囲の切り取り方法:

- 1) 選択ツールで選択範囲を設定します。
- 2) 以下のいずれかの操作を行なって下さい:
 - ・ クイックアクセスバーの「切り取り」ボタンをクリックする
 - ・  キーと「X」キーを押す
 - ・ ファイルメニューから「切り取り」コマンドを選択する

ノート:

- 1) 切り取り作業を行なう場合は、レイヤーパレットをご確認いただき、切り取り作業が正しいレイヤーに対して実行されているかどうかお確かめ下さい。(レイヤーについての詳細は、13章をご参照下さい)
- 2) 何も選択範囲が設定されていない時に「切り取り」コマンドが実行されると、画像全体が切り取られます。

選択範囲のコピー

画像の選択範囲をコピーすると、クリップボードにその複製が配置され、他の画像に貼り付けたり、他のアプリケーションに流用することができます。

選択範囲のコピー方法:

- 1) 選択範囲を設定します。
- 2) 以下のいずれかの操作を行なって下さい:
 - ・ クイックアクセスバーにある「コピー」ボタンをクリックする
 - ・  キーと「C」キーを押す
 - ・ 編集メニューから「コピー」コマンドを選択する

注意:

- 1) コピー操作を行なう場合、レイヤーパレットをご確認いただき、コピー作業が正しいレイヤーに対して実行されているかどうかお確かめ下さい。
- 2) コピーコマンドが実行される際に何も選択範囲が設定されていない場合、画像全体がコピーされます。

選択範囲の貼り付け

貼り付けコマンドを使用すると、クリップボードに配置されていた画像が新規レイヤとして追加されます。

切り取りまたはコピーされた画像の貼り付け方法:

- 1) 切り取りまたはコピーした画像を貼り付けたい画像を開きます。
- 2) 以下のいずれかの操作を行なって下さい:
 - ・ クイックアクセスバーにある「貼り付け」ボタンをクリックする
 - ・  キーと「V」キーを押す
 - ・ 編集メニューから「貼り付け」を選択する

注意:

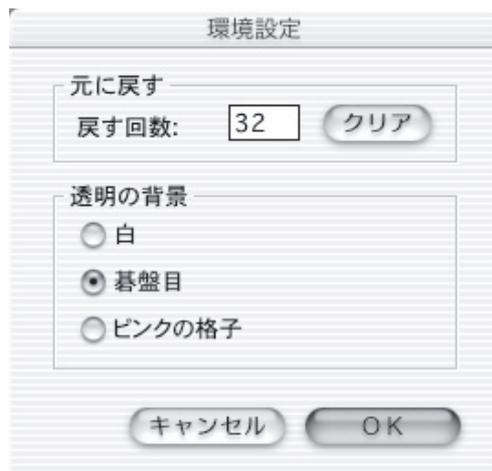
- 1) PhotoStudio の貼り付けコマンドは、実行される度に新しいレイヤを追加作成します。貼り付けコマンドを実行する際は、対象となるレイヤが正しく選択されているかどうか、レイヤパレットでよくご確認下さい。(レイヤーについての詳細は、13章をご参照下さい)
- 2) クリップボードが空の場合、貼り付けコマンドは実行できません。

選択範囲の削除

削除コマンドは、画像から不要な部分を削除することができます。

選択範囲の削除方法:

- 1) 選択範囲を設定します。
- 2) 以下のいずれかの操作を行なって下さい:
 - ・ 「Del」キーを押す
 - ・ 編集メニューから「クリア」を選択する



重要: クリアコマンドが実行された際に選択範囲が何も設定されていない場合、画像全体が削除されます。もし、画像が不適切に消えてしまった場合は、編集メニューから元に戻すを選択して下さい。

注意:

- 1) クリアコマンドを実行する場合、レイヤパレットをご確認いただき、削除作業が正しいレイヤに対して実行されているかどうかお確かめ下さい。(レイヤーについての詳細は、13章をご参照下さい)
- 2) 背景レイヤにある画像が削除された場合、その部分は「透明の背景」(環境設定内)で設定したパターンで表示されます。このパターンは、透明部分であることを示すためのもので、実際には画像データではありません。

画像の回転

斜めに映っている画像を傾けて修正したい場合、回転コマンドを使用して細やかに修正を行なうことができます。

画像の回転方法:

- 1) 編集メニューから「回転」を選択します。
- 2) 回転ダイアログボックスが表示されます。回転角度を数値で入力するか、または、画像プレビューの四隅に表示されているハンドル部をドラッグして下さい。
- 3) 回転作業を実行させる場合は、「OK」をクリックし、取りやめる場合は、「キャンセル」をクリックします。



注意:

- ・回転コマンドは、画像全体に対してのみ実行することができます。
- ・画像の一部分だけを回転させる場合は、選択範囲を作成した後、「変形ツール」を選択して、オプションパレットから「回転」を選択して選択範囲の隅のハンドルをドラッグ操作して下さい。

選択範囲の変形

変形ツールを使用することにより、画像やレイヤの一部を変形したり、大きさを変えたり、傾斜させたり、回転させたり、台形にすることができます。貼り付けた画像を自然に背景画像に馴染ませる場合に非常に有効です。



変形の実行方法:

- 1) 変形させたい画像やレイヤの一部を選択します。
- 2) ツールパレットから「変形」ツールを選択します。
- 3) オプションパレットからお好みの設定を選択します。
 - ・ **サイズ変更**: 選択した画像またはレイヤの大きさを調整します
 - ・ **任意**: 選択した画像またはレイヤを自由に変形します
 - ・ **斜変形**: 選択した画像やレイヤを斜めに傾けます
 - ・ **回転**: 選択した画像またはレイヤの角度を調整します
 - ・ **遠近法**: 選択した画像またはレイヤを台形変形させます
- 4) 選択画像の四隅に表示されているハンドル部をドラッグします。
- 5) お好みの変形効果ができあがったら、変形ツール以外のツールをツールボックスから選択します。
- 6) 選択メニューから「なし」を選択するか、 キーとDキーを押すと、選択範囲の選択を解除することができます。

注意:

- 1) 変形ツールは、画像またはレイヤの一部にしか適用できません。
- 2) 変形ツールは、選択範囲が設定されていないと使用できません。
- 3) 選択範囲を変形する場合、レイヤパレットを参照して、作業を行なっているレイヤが適切かどうかをご確認下さい。(レイヤーについての詳細は、13章をご参照下さい)

画像の方向の変更

方向コマンドを使用すると、90度単位で簡単に画像を回転させることができます。

また、画像を鏡像化することもできます。

画像の方向の変更方法:

- 1) 編集メニューをクリックします
- 2) 「方向」コマンドを選択します。
- 3) 方向ダイアログボックスにおいて「鏡像」チェックボックスをチェックします。
- 4) お好みの回転方向を選択します。
- 5) 方向変更を実行させる場合は、「OK」ボタンをクリックし、作業を中断したい場合は「キャンセル」をクリックして下さい。



注意: このコマンドは、画像全体に対してのみ有効です。

画像のトリミング

トリミングツールを使用すると、画像の必要な部分だけを残して、それ以外の範囲を画像から削除することができます。

画像のトリミング方法:

- 1) 残しておきたい画像を選択範囲に設定します。
- 2) ツールパレットから「トリミングツール」を選択します。

注意: トリミングツールを使用する場合は、必ず選択範囲を設定しておく必要があります。

ボーダーの追加

画像の外側にピクセル単位で余白を追加することができます。余白を追加することにより、画像変形や調整の余裕を持たせることができます。

画像に余白を追加する方法:

- 1) 編集メニューを選択します。
- 2) 「ボーダーの追加」コマンドを選択します。
- 3) 「ボーダーの追加」ダイアログボックスで余白を追加する四方向の長さをピクセル単位で入力します。
- 4) 余白追加を実行する場合は、「OK」ボタンをクリックして、操作を中止させたい場合は「キャンセル」をクリックして下さい。

注意: 新しく追加された余白部分は、あらかじめ透明になっています。

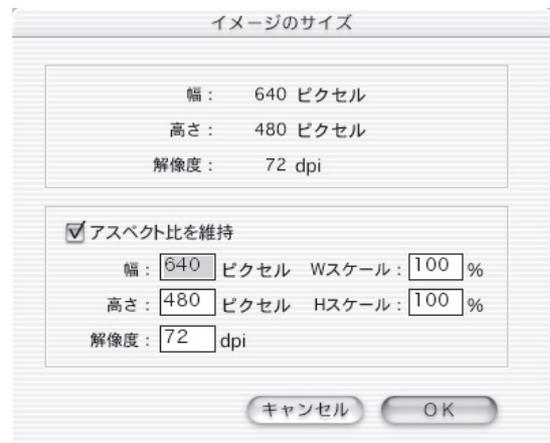
画像のサイズと解像度の変更

「イメージのサイズ」コマンドを使用すると、画像の物理サイズや解像度をフロッピーディスクやEmailへの添付用に合うように縮小したり、反対にプリンターに印刷するために解像度を高くすることができます。

画像のサイズや解像度の調整方法:

- 1) 編集メニューをクリックします。
- 2) 「イメージのサイズ」を選択します。
- 3) 「イメージのサイズ」ダイアログボックスが表示されるので、オリジナル画像の縦横の比率を保持したままサイズを拡大/縮小させる場合は「アスペクト比を維持」チェックボックスをチェックしておいて下さい。
- 4) 画像の幅と高さの数値を入力して、解像度を変更する場合は、「解像度」の数値も入力して下さい。(必ずしも解像度まで変更する必要はありません)
- 5) サイズ変更を実行させる場合は、「OK」ボタンをクリックして、作業を中止させる場合は「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。

注意: 「アスペクト比を維持」チェックボックスがチェックされていると、幅と高さのいずれかの数値を入力すると、縦横比を維持するために自動的にもう一方の数値も増減されます。



ショートカットキー

01. 新規画像ファイルを作成する:  キー + N.
02. 画像ファイルを開く:  キー + O.
03. アクティブな画像を閉じる:  キー + W.

04. ファイルを保存：  キー + S.
05. 画像を印刷：  キー + P.
06. PhotoStudioを終了：  キー + Q.
06. 操作を取り消す：  キー + Z.
07. 複数の操作を取り消す：  キー + Z を繰り返す
08. 元に戻した操作のやり直し：  キー + Y.
09. 複数の元に戻した操作のやり直し：  キー + Y を繰り返す
10. 選択した画像の切り取り：  キー + X.
11. 選択した画像のコピー：  キー + C.
12. コピーまたは切り取った画像の貼り付け：  キー + V.
13. 選択した画像の削除： Delete キー
14. アクティブな画像全体の選択：  キー + A.
15. 選択範囲の反転：  キー + I.
16. 選択範囲の選択解除：  キー + D.
17. ルーラー表示：  キー + R.

PhotoStudio は、既存の画像ファイルを開いたり、新規に画像ファイルを作成することができます。新しく作成されたファイルは、「無題」のタイトルが付され、既存のファイルを開いた場合は、そのファイル名がタイトル部に表示されます。

既存の画像ファイルは、ディスクドライブや PhotoStudio のアルバムパレットから開いたり、デジタルカメラやスキャナのような TWAIN 対応機器から直接画像を取り込むことができます。

目次:

1. ディスクドライブから画像を開く 4-2
2. アルバムパレットから画像を開く 4-2
3. TWAIN 対応機器から画像を取り込む 4-3
4. 画面のスクリーンショットを取る 4-3
5. 新規画像ファイルを作成する 4-4

ディスクドライブから画像を開く

PhotoStudio は、ハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROM、カードリーダー等のストレージデバイスから既存の画像を開くことができます。

ディスクドライブから画像を開く:

- 1) キーボードで **⌘** キー + *O* (*Open*) を押すか、クイックアクセスバーにある「開く」ボタンをクリックするか、もしくはファイルメニューから「開く」コマンドを選択して下さい。
- 2) 「開く」ダイアログが表示されますので、画像ファイルを含むドライブやフォルダを指定して下さい。
- 3) ファイルのアイコンをクリックするか、「ファイル名」のフィールドにファイル名を入力します。
- 4) ファイルを開く場合は、「開く」ボタンをクリックし、操作を中止したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。



ディスクドライブから複数の画像ファイルを開く方法:

- 1) キーボードから **⌘** キー + *O* (*Open*) キーを押すか、クイックアクセスバーにある「開く」ボタンをクリックするか、もしくはファイルメニューから「開く」コマンドを選択して下さい。
- 2) 「開く」ダイアログが表示されますので、画像ファイルを含むドライブやフォルダを指定して下さい。
- 3) *Shift* キーを押しながら、複数のファイルのアイコンをクリックします。
- 4) ファイルを開く場合は、「開く」ボタンをクリックし、操作を中止したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

注意: 画像ファイルがリムーバブルメディアに保存されている場合、画像を開く際にその画像を含むメディアがドライブに入っていることをご確認下さい。

アルバムパレットから画像を開く

アルバムパレットを使用すると、簡単に膨大な数の画像ファイルを開くことができます。

アルバムパレットから画像を開く場合:

- 1) デスクトップ画面でアルバムパレットが開かれていることをご確認下さい。
- 2) アルバムパレット右上のボタンをクリックして、アルバム名のドロップダウンリストからお好みの画像データを含むアルバム名を選択します。

- 3) アルバムパレット内のスクロール矢印を使用して、お好みの画像データのサムネイルアイコンをクリックします。
- 4) サムネイルアイコンをダブルクリックするか、もしくは PhotoStudio のデスクトップ画面へドラッグ&ドロップして下さい。

アルバムから複数の画像を開く方法:

- 1) 上記のステップ 1 からステップ 3 までを行なって下さい。
- 2) *Shift* キーを押しながら、開きたい画像を選択して下さい。
- 3) 選択した複数の画像を PhotoStudio のデスクトップ画面にドラッグ&ドロップして下さい。

注意:

- 1) アルバムパレットに連なるサムネイル画像を一度に選択する場合、*Shift* キーを押しながら最初と最後のサムネイルを選択すると、間のすべてのサムネイルを一度に選択できます。
- 2) *Control* キーを押しながらサムネイルをクリックすると、クリックした画像を次々に選択することができます。

TWAIN 対応機器から直接画像を取り込む

PhotoStudio は、デジタルカメラやスキャナーのような TWAIN 対応デバイスからの直接の画像取り込み機能をサポートしています。TWAIN 対応機器から画像を取り込む場合、適切な TWAIN ドライバーがインストールされていること、TWAIN 対応機器が正しくコンピュータに接続されていることをご確認下さい。

画像の取り込み方法:

- 1) ファイルメニューから「ソースの選択」を選択します。
- 2) ダイアログボックスが表示されますので、任意のドライバーを選択して、「Select (選択)」ボタンをクリックします。
- 3) ファイルメニューから「取り込み」を選択するか、もしくはクイックアクセスバー上にある「取り込み」ボタンをクリックします。
- 4) 各 TWAIN 対応機器のマニュアルをご参照いただき、表示されているダイアログの指示に従って下さい。

注意: 上記のステップ 1 とステップ 2 は、必ずしも必要ありません。最初にこれらのステップを行っておけば、2 度目以降の操作時には、この作業を省いてステップ 3 からすぐに画像取り込みを行なうことができます。

画面のスクリーンショットを取る

PhotoStudio は、モニターに表示されている各種ウィンドウ、アイコンなどをダイレクトに画像として取得することができます。この機能を使用することにより、様々なソフトウェアの使用方法の解説などに有効利用することができます。

スクリーンショットの取得方法:

- 1) 画面上のウィンドウやアイコン、画像などをスクリーンショットに適した場所に配置します。
- 2) PhotoStudio を起動して、ファイルメニューから「キャプチャ」を選択します。

- 3) キャプチャダイアログが表示されますので、以下のオプションのいずれかを選択して下さい：
 - ・ スクリーン：画面全体を画像として取得します。
 - ・ 時間指定のスクリーンキャプチャ：10秒後に画面全体を画像として取得します。これにより、画面構成を調整する時間を確保することができます。
- 4) PhotoStudio のデスクトップ画面を隠してその他のアプリケーションなどのウィンドウを画像として取得する場合、「キャプチャのときに PhotoStudio ウィンドウを隠す」チェックボックスをチェックしておいて下さい。
- 5) 画像取得をおこなう場合は、「OK」ボタンをクリックし、作業を中止したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。
- 6) 自動的に PhotoStudio の画面に戻り、取得した画像がウィンドウとして表示されます。

新規画像ファイルを作成する

ファイルメニューにある「新規作成」コマンドやクイックアクセスバーにある「新規作成」ボタンを使用して、新規の画像ファイルを作成することができます。

新規画像ファイルの作成方法:

- 1) 新規画像ファイルの背景色を指定するためにツールパレット最下部の背景色ボタンをクリックして、カラーグリッドからお好みの背景色を選択します。
- 2) クイックアクセスバーにある「新規作成」ボタンをクリックするか、ファイルメニューから「新規作成」コマンドを選択します。
- 3) 新規作成ダイアログが表示されますので、データ形式（色深度）や単位、大きさ、解像度などを設定して下さい。
- 4) 「OK」をクリックすると、画像が作成され、「キャンセル」をクリックすると、作業が中止されます。

注意: 背景色は、ツールパレット最下部の背景色ボタンの色によって決まります。新規画像の背景色を白色にしたい場合は、カラーグリッドから白色を指定するようにして下さい。

PhotoStudio では画像を表示する様々なモードが用意されています。

目次:

1. 標準的な画像表示モード	5-2
2. 拡大 / 縮小表示	5-2
3. パンツール及びスクロールバー	5-3
4. ルーラー / グリッドの表示	5-3
5. ナビゲーションパレット	5-4
6. 複数画像の表示	5-4

標準的な画像表示モード

画像ウィンドウとして、以下のようなモードが用意されています。

- 1) 100% : 画面上の画像サイズを100%の比率で表示します。画像がウィンドウサイズよりも大きい場合、スクロールバーを使用して画像の全領域を確認することができます。

100%モードでの画像表示方法:

- ・ 表示メニューから「100%」コマンドを選択します。

- 2) ウィンドウに合わせて表示 : 画像ファイルの表示サイズを自動的にウィンドウサイズに合わせます。このオプションは、画像全体をすぐに把握したり、スクロールバーを隠したりできる点で非常に便利です。

ウィンドウに合わせて表示する方法:

- ・ 表示メニューから「ウィンドウに合わせて表示」コマンドを選択します。

- 3) 全画面表示 : 画像をプレゼンテーションなどのために表示のみ可能とした非編集モードです。このモードでは、背景は黒色で塗りつぶされ、画面の中央に画像が表示されます。画像を拡大/縮小表示させたり、別の画像に切り替えることもできます。

全画面表示モードへの切替え方法:

- ・ 表示メニューから「全画面表示」コマンドを選択します。
- ・ 複数の画像を開いており、別の画像に画面を切り替える場合は、「Enter」キーを押します。
- ・ 編集モードに戻りたい場合は、Esc キーを押します。

注意: PhotoStudio のスライドショーは、全画面表示モードで行われます。

拡大/縮小表示

PhotoStudioのズームツールを使用すると、実画像サイズの6% から1600% までに表示倍率を変更することができます。

ズームツールの使用方法:

- 1) 拡大する場合、ツールパレットからズームツールを選択して、拡大表示したい部分をクリックします。続けてクリックすると、クリックの度に画像が拡大表示されます。
- 2) 縮小する場合、Shift キーを押しながら、ズームツールで縮小表示したい部分をクリックします。続けて Shift キーを押しながらクリックすると、その度に画像が縮小表示されます。

特定の倍率での拡大 / 縮小表示:

- 1) 表示メニューを選択します。
- 2) 以下のうち、いずれか一つを選択します。
 - ・ 拡大表示したい場合は、拡大コマンドを選択して、サブメニューからお好みの倍率を選択します。
 - ・ 縮小表示したい場合は、縮小コマンドを選択して、サブメニューからお好みの倍率を選択します。

パンツール及びスクロールバー

画像を拡大表示している場合、ウィンドウの境界あたりをもう少し広げて画像を確認したいことがあります。このような場合、パンツールを使用することにより、スクロールバーを使用するのと同様に画像の隠れた部分を表示させることができます。

拡大表示中のパンツールによる画像移動方法:

- 1) ツールパレットからパンツールを選択します。
- 2) 画像を移動させたい方向へドラッグします。

拡大表示中のスクロールバーによる画像移動方法:

- 1) ツールパレットからパンツールを選択します。
- 2) スクロールバー上の矢印をクリックするか、画像上をドラッグします。

ルーラー/グリッドの表示

画像ウィンドウ内で編集作業の尺度にするためにルーラーやグリッドコマンドを利用することができます。複数の画像の相対的な位置や大きさを細やかに調整したい場合は、大変便利です。

ルーラーを表示する場合、以下のいずれかの方法があります:

- ・  キーと R キーを押す
- ・ 表示メニューからルーラーを選択する

グリッドを表示する場合:

- ・ 表示メニューからグリッドを選択します



ナビゲーションパレットの使用

PhotoStudioのナビゲーションパレットを使用すると、高い倍率で画像を拡大表示させたり、素早く簡単に画像の拡大率、縮小率を調整することができます。

ナビゲーションパレットの使用方法:

- 1) 表示メニューから「ナビゲーションパレットを表示」を選択します。
- 2) ナビゲーションパレットの大きさをお好みのサイズに調整します。
- 3) 拡大率を調整するためにスライダーをドラッグして下さい。
- 4) 拡大表示している場合、青色のナビゲーション用の枠が表示され、この枠の位置を変えることによって、拡大/縮小する画像の部位を変更することができます。



複数画像の表示

PhotoStudioは、複数の画像を見やすいように画面に配置して表示させることができます。「並べて表示」モードでは、開いている画像すべてを見やすいようにデスクトップ画面を等分割して表示させます。「重ねて表示」モードでは、開いている画像ウィンドウがそれぞれ重なり合って表示され、アクティブの画像ウィンドウが一番手前に表示されます。

複数画像の表示方法:

- 1) お好みの画像を全て開きます。
- 2) ウィンドウメニューを選択します。
- 3) 以下のいずれかのコマンドを選択します。
 - ・ 複数の画像を等分割表示させたい場合は「並べて表示」を選択します。
 - ・ 複数の画像を重ねて表示させたい場合は「重ねて表示」を選択します。



画像の特定の範囲を指定したり、特殊効果や色調補正、コマンドの実行対象の範囲を限定したい場合、最初に選択範囲を作成する必要があります。選択範囲を設定していない場合、すべてのコマンドや効果が画像全体に適用されます。「トリミング」や「変形」のようなコマンドでは、必ず、選択範囲の設定が必要です。

目次:

1. 定型範囲の選択	6-2
2. 自由形状の選択	6-2
3. 多角形選択範囲	6-3
4. カラーによる選択範囲の設定	6-3
5. 選択範囲の変更	6-4

定型範囲の選択

長方形、正方形、円形、楕円形のような定型形状で選択範囲を作成することができます。

定型での選択範囲の設定:

- 1) ツールパレットから「選択ツール」を選択します。
- 2) 表示メニューからオプションパレットを開きます。
- 3) オプションパレットから以下のいずれかを選択します。
 - ・ 長方形：四角形の選択範囲を作成する場合
 - ・ 正方形：正方形の選択範囲を作成する場合
 - ・ 楕円形：楕円形の選択範囲を作成する場合
 - ・ 円：円形の選択範囲を作成する場合
- 4) オプションパレット内のその他の設定をお好みに応じて行ないます。
- 5) 選択範囲を作成するため、画像上をドラッグします。



注意: より細やかな選択範囲の作成が必要な場合は、本章内の「選択範囲の変更」をご参照下さい。

自由形状の選択

自由な形状や非定形な形状で選択範囲を作成する場合、「自由描画選択ツール」を使用して、選択範囲を作成することができます。

自由形状の選択範囲の作成方法:

- 1) ツールパレットから「自由描画選択ツール」を選択します。
- 2) 選択範囲を作成したい画像上のお好みの開始地点をクリックして、選択範囲にしていしたい形状に沿ってドラッグします。ドラッグした軌跡がそのまま選択範囲になります。
- 3) 選択範囲のトレースが終わったら、ダブルクリックします。(この操作により選択範囲が閉じます)



注意:

- 1) より細やかな選択範囲の作成が必要な場合は、本章内の「選択範囲の変更」をご参照下さい。
- 2) 自由描画選択ツールでドラッグ操作なしで離れた2つの地点をクリックするとその2点を結ぶ直線が選択境界線になり、ドラッグすると、ドラッグした軌跡が選択境界線となります。この2つの描画方法により、直線と自由曲線の両方から成る形状を選択範囲に設定することができます。

多角形選択範囲

星形のような多角形の選択範囲を作成する場合、自由描画選択ツールを使用して下さい。

多角形選択範囲の作成方法:

- 1) ツールパレットから「自由描画選択ツール」を選択します。
- 2) 選択範囲を作成したい画像上のお好みの開始地点をクリックします。
- 3) 最初にクリックした地点から離れた所をクリックします。
選択境界線により、クリックした2点が結ばれて表示されます。
- 4) 同様の作業を続けて、選択範囲にしたい外郭線を結んでゆきます。
- 5) 外郭線がつながったところでダブルクリックします。



注意:

- 1) より細やかな選択範囲の作成が必要な場合は、本章内の「選択範囲の変更」をご参照下さい。
- 2) 自由描画選択ツールでドラッグ操作なしで離れた2つの地点をクリックするとその2点を結ぶ直線が選択境界線になり、ドラッグすると、ドラッグした軌跡が選択境界線となります。この2つの描画方法により、直線と自由曲線の両方から成る形状を選択範囲に設定することができます。
- 3) 自由描画選択ツールでは、最初にクリックした地点と最後にダブルクリックする地点が直線で結ばれます。

カラーによる選択範囲の設定

同一色の部分だけを選択範囲として指定する場合、「マジックワンドツール」を使用します。このツールでは、青空や白色の壁のように同一色の部分だけを選択範囲にすることができます。このツールは、複雑な形状である一方、単純な色で構成されている画像で選択範囲を作成する場合に非常に便利です。

カラーによる選択範囲の設定方法:

- 1) ツールパレットから「マジックワンドツール」を選択します。
- 2) オプションパレットを開きます。
- 3) 選択範囲にしたいカラーを含む画像上の一点をクリックします。選択範囲が広すぎる場合、オプションパレット上のRGBスライダーの各数値を小さくします。
- 4) 選択範囲が狭すぎる場合、オプションパレット上のRGBスライダーの各数値を大きくします。
- 5) 「隣接エリアのみ」のチェックボックスをチェックしておく、と、クリックした地点に隣接するカラーだけを参照先として限定することができます。
- 6) 画像全体にカラー選択の適用範囲を広げたい場合は、「隣接エリアのみ」のチェックボックスを解除しておいて下さい。
- 7) あらためて「マジックワンドツール」で選択範囲にしたいカラーを含む画像上の一点をクリックします。

選択範囲の変更

画像編集をより細やかにおこなうために選択範囲の形状を修正することができます。

各種選択ツールの使い方の概略:

- ・ 選択範囲の解除を行ないたい場合、キーボードから  キーと D キーを押すか、選択メニューから「なし」を選択するか、または選択範囲の外をクリックします。
- ・ 選択範囲を反転させたい場合(つまり選択範囲外を選択範囲にする場合)、  キーと I キーを押すか、選択メニューから「反転」を選択します。
- ・ 画像全体を選択範囲に指定したい場合、  キーと A キーを押すか、選択メニューから「すべて」を選択します。
- ・ 選択範囲の境界線を枠線を選択範囲に変換する場合、選択メニューから「枠線」を選択します。
- ・ ある一定量のピクセルで構成されている選択範囲の範囲を広げたい場合、選択メニューから「拡大」を選択します。
- ・ 四角形の選択範囲の角を丸めたい場合、選択メニューから「スムーズ」を選択します。
- ・ 選択範囲を新規に作成する場合、オプションパレットから「新規」ラジオボタンをチェックします。
- ・ 現在作成済みの選択範囲に新しい選択範囲を追加したい場合、オプションパレットから「追加」ラジオボックスをチェックするか、もしくは Shift キーを押しながら、選択範囲を作成します。
- ・ 現在作成済みの選択範囲から任意の形状で選択範囲の一部の選択を解除したい場合、オプションパレットから「減算」ラジオボックスをチェックして、選択解除したい部分を選択ツールで囲みます。
- ・ 選択範囲の境界線を移動させたい場合、「選択ツール」で選択範囲内をクリックしてそのまま移動先までドラッグします。
- ・ 選択範囲内の画像を別な場所に移動させる場合、ツールパレットから「移動ツール」を選択して選択範囲内をクリックして、移動先までドラッグします。

注意:

- 1) 選択メニュー内の各コマンドは、すべての選択ツールにおいて利用することができます。
- 2) オプションパレット内の各設定は、使用する選択ツールの種類によって、それぞれ異なります。

本章では、描画色と背景色の選択方法や変更方法、カラー画像とグレースケール画像の相互変換方法などについて解説しています。

目次:

1. 描画色と背景色の変更方法 7-2
2. カラー画像のグレースケール画像への変換方法 7-2

描画色と背景色の変更方法

PhotoStudio のツールパレットの最下部には、2つの重なり合ったカラーボックスがあります。左上に表示されている方が描画色で、右下の方が背景色となっています。描画色は、ブラシツールなどの描画ツールで画像に適用される色となります。背景色は、描画色に簡単に切替え可能な代替色として利用できます。

注意: 各カラーボックス上にカーソルを移動させると、ステータスバー上に描画色と背景色のいずれであるかが表示されます。

背景色の変更方法:

- 1) 背景色のカラーボックスをクリックします。
- 2) 後述の4通りのカラー変更方法の1つを使用して、色を指定します。
- 3) 描画色のカラーボックスをクリックします。

4通りのカラーの変更方法:

- 1) 画像上の特定のカラー部分を「アイドロップツール」でクリックする
- 2) ツールパレットにある「カラーグリッド」をクリックして、お好みの色を選択する
- 3) ツールパレットにある「カラースペクトラム」をクリックして、お好みの色を選択する
- 4) ツールパレットにある「カラー選択」ボタンをクリックして、「色の選択」ダイアログボックスを表示させて、お好みの色を選択します。HSV カラーモデルを利用すると、最も正確な色指定を行なうことができます。

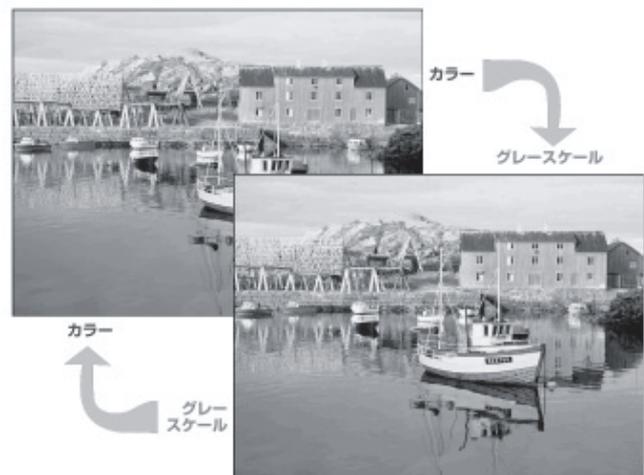
カラー画像のグレースケール画像への変換

カラー画像をグレースケール画像や白黒に変更する必要がある場合、簡単にカラー画像をグレースケール画像へ変換することができます。(アーティスティックな画像にする場合や印刷用の校正、カラー画像のセピア調に調整する場合など)

カラー画像のグレースケール画像への変換方法:

- 1) カラー画像を開きます。
- 2) 編集メニューから「8ビットグレースケール」を選択します。

カラー画像がグレースケールに変換されます。



グレースケール画像のカラー画像への変換

グレースケール画像に着色する場合は、グレースケール画像ウィンドウを開いた状態で編集メニューから「24ビット天然色」を選択して下さい。

8ビットグレースケール画像ファイルは、256階調の濃淡情報しか適用できないので、カラーで着色することはできないようになっています。グレースケール画像に着色する場合は、あらかじめカラー画像に変換した後に着色処理を行なう必要があります。

グレースケール画像のカラー画像への変換方法:

- 1) グレースケール画像を開きます。
- 2) 編集メニューから「24ビット天然色」を選択します。

グレースケール画像がカラー画像に変換されます。見た目上は、グレースケールのままですが、カラーで着色することができます。

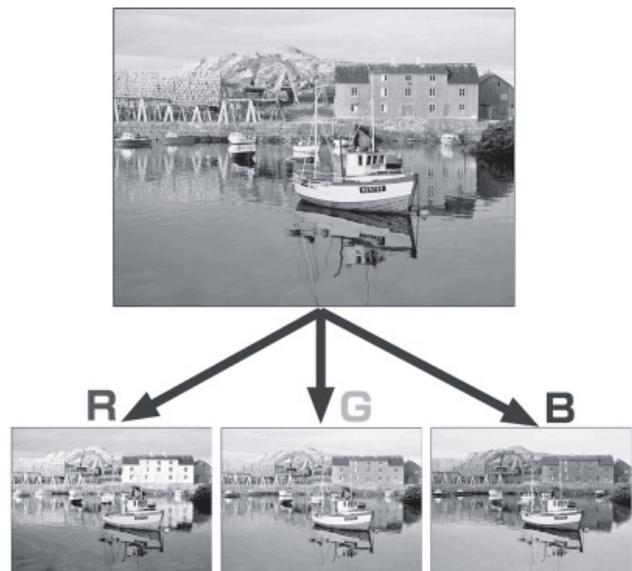
48ビットRGBカラーの画像は、オーバークオリティな色情報を持っているため、その編集機能にはいくつかの制限が生じます。48ビットRGBカラーの画像では、ブラウズしたり、印刷したり、トリミングできるほか、明るさ・コントラスト／ネガ／しきい値などの色調補正コマンドをご利用いただけますが、多くの一般的な画像編集ツールのほか、ペイント、テキストの追加、レイヤーの使用などは、ご利用いただくことができません。48ビットRGBカラー画像でご利用いただけないツールを選択した場合、マウスカーソルが画像上に移動した時点で、カーソルアイコンが駐車禁止マークとなり、そのツールがご利用いただけないことを示します。

色分解

カラーモデルは、カラーがどのように成り立っているか、その要素を示すために使用されてきました。RGBカラーモデルは、コンピュータの画面表示や画像取込みにもっとも頻繁に使用されてきたカラーモデルで、CMYKカラーモデルは、カラープリンターや商業印刷でもっとも良く使われてきたカラーモデルです。

RGBカラーモデルは、RGB、HSV、CMYK、YIQなどのカラーモデルへ色分解することができます。

RGBに色分解された場合、R(Red)、G(Green)、B(Blue)の3色チャンネルに画像が分解されて、各チャンネルの画像は、8ビットグレースケールの画像として表示されます。つまり、RGBフルカラー画像から、3枚のグレースケール画像が生成されることとなります。



CMYK カラーモデルの場合、C(Cyan)、M(Magenta)、Y(Yellow)、K(Black)の4枚のグレースケール画像に分解されます。個々のグレースケール画像の濃淡を調整した後、それらをすべて「組み合わせ」コマンドで合成すると、濃淡の調整された色成分が補正されたRGBフルカラー画像が出来上がります。(例えば、CMYKに色分解した後、C(Cyan)の濃淡を濃くして、「組み合わせ」コマンドで他のMYKの3つのチャンネルと合成すると、Cの濃度が増したことにより、全体的に青っぽい(Cyanは、青色の意味)画像に仕上がります。)

この色分解機能により、フレキシブルに色調補正を行なうことができます。

色分解の手順：

- 1) 色分解したいカラー画像を開きます。
- 2) 編集メニューから「分離」コマンドを選択して、サブメニューからお好みのカラーモデルを選択します。選択したカラーモデルの色分解が行なわれ、各カラーモデルごとのカラーチャンネル数分のグレースケール画像が作成されます。

注意: 「分離」コマンドは、元の画像ファイルがRBBフルカラー画像以外の場合、無効となります。

PhotoStudioでは、様々なペイントやフォトレタッチのツールが用意されています。これらのツールにより、新しく画像を描画したり、既存の写真を様々に加工することができます。各ツールごとに透明度や適用度、ブラシサイズのようなカスタマイズ可能なオプション設定が用意されています。

PhotoStudio内の他のコマンドやオプションと同様にペイントやレタッチ用のツールも画像全体、選択範囲内のいずれにも適用させることができます。

目次:

1. ブラシツールの選択	8-2
2. ブラシサイズの新規作成&削除	8-2
3. ペイントブラシツールの使用	8-3
4. スプレーペイントツールの使用	8-3
5. ペンツールの使用	8-3
6. 線ツールの使用	8-4
7. 消しゴムツールの使用	8-4
8. 広範囲塗りつぶしツールの使用	8-4
9. 階調塗りつぶしツールの使用	8-5
10. パターン塗りつぶしツールの使用	8-5
11. スポイトツールの使用	8-6
12. スタンプツールの使用	8-6
13. スマッジツールの使用	8-7
14. 形状ツールの使用	8-7
15. クローンツールの使用	8-7
16. レッドアイ除去ツールの使用	8-8
17. カラーでの塗りつぶし	8-8

ブラシツールの選択

描画系のツールを選択している場合のオプションパレットでは、異なるサイズのブラシ形状が表示されません。描画系のツールの使用時には、オプションパレットを開いておき、常時、ブラシサイズを調整できるようにしておくといでしょう。

ブラシの選択方法:

- 1) オプションパレットを開きます。オプションパレットが開いていない場合は、表示メニューから「オプションパレットを表示」を選択します。
- 2) お好みのブラシサイズを選択します。

ブラシサイズの新規作成 & 削除

オプションパレットにお好みのブラシサイズが含まれていない場合、オプションパレット内の「追加」ボタンを使用して、新規ブラシサイズを作成することができます。新規に作成されたブラシサイズは、既存のブラシサイズの最後に追加表示されます。但し、新規に作成したブラシサイズは、既存のブラシサイズとは異なり、消去可能になっています。

新規ブラシの作成方法:

- 1) ツールパレット最下部の描画色カラーを白色に変更します。
- 2) クイックアクセスバーにある「新規作成」ボタンをクリックするか、ファイルメニューから「新規作成」コマンドを選択します。
- 3) データ形式を「8ビットグレー」に設定します。
- 4) 単位を「ピクセル」に設定します。
- 5) サイズの「幅」と「高さ」をそれぞれ100ピクセル、解像度を72dpiに設定します。
- 6) 描画色カラーを黒色に変更します。
- 7) 作成したいブラシの形状を黒色で描画／塗りつぶします。(どのツールを使用しても可)
- 8) ファイルメニューから「名前を付けて保存」を選択して、分かりやすい名称を入力して、JPEG形式で保存します。

新規作成したブラシ形状のオプションパレットへの追加方法:

- 1) オプションパレットを開きます。
- 2) 「追加」ボタンをクリックします。
- 3) オープンダイアログボックスが開きますので、あらかじめJPEG形式で保存したブラシ形状のファイルを開きます。
- 4) 自動的にオプションパレットの既存のブラシ形状の最後に新規作成したブラシ形状が追加されます。

注意: 消しゴムツールのブラシ形状も同様にオプションパレットに新規ブラシ形状を追加することができます。

新規追加したブラシ形状の削除方法:

- 1) オプションパレットが開いている状態で新規作成 & 追加したブラシ形状を選択します。
- 2) オプションパレット上の「削除」ボタンをクリックします。



ペイントブラシツールの使用

ペイントブラシツールでは、描画部分が回りのカラーに違和感なく馴染むように縁がぼやけたブラシ形状となっています。

ペイントブラシツールの使用方法:

- 1) ツールパレットのペイントブラシツールのアイコンを選択します。
- 2) オプションパレットを選択します。
- 3) お好みのブラシ形状を選択します。
- 4) オプションパレットの「透明度」のスライダーを調整します。
- 5) 画像上をドラッグします。



スプレーペイントツール

スプレーペイントツールを使用すると、ペイントブラシツールに比べて、よりオリジナルの画像に違和感なく馴染みやすいブラシ形状で描画できます。

スプレーペイントツールの使用方法:

- 1) ツールパレットのスプレーペイントツールを選択します。
- 2) オプションパレットを開きます。
- 3) お好みのブラシ形状を選択します。
- 4) オプションパレット上の「透明度」のスライダーをドラッグして透明度を調整します。
- 5) 画像上をドラッグします。



ペンツールの使用

ペンツールを使用すると、鉛筆と同じように自由描画が可能です。但し、ペンツールの場合、ブラシ形状の縁部分にぼかしがつきません。

ペンツールの使用方法:

- 1) ツールパレット上のペンツールを選択します。
- 2) オプションパレットを開きます。
- 3) お好みのブラシ形状を選択します。

- 4) オプションパレット上の「透明度」のスライダーをドラッグして透明度を調整します。
- 5) 画像上をドラッグします。



線ツールの使用

線ツールを使用すると、お好みの幅の直線を引くことができます。この時、アンチエイリアス（滑らか処理）オプションのモードを設定することもできます。

線ツールの使用方法:

- 1) ツールパレットにある線ツールを選択します。
- 2) オプションパレットを開きます。
- 3) オプションパレット内の「線幅」をお好みの数値に設定します。
- 4) ギザギザが目立たない線を引きたい場合は、「アンチエイリアス」のチェックボックスをチェックします。
- 5) 線を引き始める地点をクリックして、そのままドラッグします。
- 6) 線の方向や長さがちょうどよいところでマウスボタンを放します。



消しゴムツールの使用

消しゴムツールは、画像からピクセルを消去することにより、その部分を透明にしたり（この場合、環境設定内の「透明の背景」で選択されている背景パターンで塗りつぶされます）、下に位置するレイヤー上の画像を透過表示することができます。

消しゴムツールの使用方法:

- 1) ツールパレットから消しゴムツールを選択します。
- 2) オプションパレットを開きます。
- 3) オプションパレット上のスライダーを調整して、画像を消去する度合を設定します。
- 4) お好みのブラシサイズを選択します。
- 5) 画像上をドラッグします。

注意: 消しゴムツールで画像を構成するピクセルを完全に消去する場合は、「効果」のスライダーを100%に調整して下さい。



広範囲塗りつぶしツール

広範囲塗りつぶしツールを使用すると、画像上の同じ色範囲（同じ階調）を描画色カラーで塗りつぶします。

広範囲塗りつぶしツールの使用方法:

- 1) ツールパレットから広範囲塗りつぶしツールを選択します。
- 2) オプションパレットを開きます。
- 3) 「透明度」のスライダーを調整して、塗りつぶした範囲内の透明度を設定します。
- 4) 「近似色」のスライダーを調整して、塗りつぶしの適用範囲を設定します。
- 5) 画像上の塗りつぶしを行ないたい地点をクリックします。



階調塗りつぶしツール

階調塗りつぶしツールを使用すると、画像全体または選択範囲内を描画色から背景色までのグラデーションで塗りつぶします。

画像へのグラデーションの適用方法:

- 1) ツールパレットから階調塗りつぶしツールを選択します。
- 2) オプションパレットを開きます。
- 3) オプションパレット上の「スタイル」ポップアップメニューから「線形」「円形」「楕円形」「正方形」「長方形」のいずれかを選択します。
- 4) オプションパレット上の「モード:」の「RGB」または「HVS」のいずれかを選択します。
- 5) 「遷移:」の「ソフト」「ハード」のいずれかを選択します。
- 6) 「透明度」のスライダーを調整します。
- 7) 「頻度」のスライダーを調整します。
- 8) グラデーション効果を掛けたい範囲をドラッグします。

注意: 階調塗りつぶしツールのドラッグされる方向がグラデーションの適用される方向となります。



パターン塗りつぶしツール

パターン塗りつぶしツールを使用すると、画像全体や選択範囲をパターンで塗りつぶすことができます。

パターン塗りつぶしツールの使用方法:

- 1) ツールパレットからパターン塗りつぶしツールを選択します。
- 2) オプションパレットを開きます。
- 3) 「不透明度」のスライダーを調整します。
- 4) 「切り取り」や「コピー」コマンドでクリップボードに配置された画像をパターンとして使用したい場合は、「クリップボードの使用」チェックボックスをチェックして下さい。
- 5) 以下のいずれかをチェックします:
 - ・ テクスチャのみの塗りつぶし: 半透明パターンで塗りつぶしを行なう場合
 - ・ ミラー: 画像全体をパターンを反射させながら塗りつぶしを行なう場合

- ・ 整列：パターンを並べて塗りつぶしを行なう場合
 - ・ 煉瓦：パターンをずらして配列させて塗りつぶしを行なう場合
- 6) 適用させるパターンを選択して、画像をクリックします。



スポイトツールの使用

スポイトツールを使用すると、画像の特定の範囲から色を選択することができます。これにより、描画色を簡単に指定しやすくなります。

スポイトツールの使用方法:

- 1) ツールパレットからスポイトツールを選択します。
- 2) オプションパレットを開きます。
- 3) オプションパレット上の「モード:」を「RGB」と「HSV」のいずれかに設定します。
- 4) ツールパレットで拾い上げるピクセル数を設定します。
- 5) 画像上の色を選択したい部分をクリックします。



スタンプツール

スタンプツールを使用すると、描画色で指定したカラーでクリップアートなどの一定の形状での描画が可能です。

スタンプツールの使用方法:

- 1) ツールパレットからスタンプツールを選択します。
- 2) オプションパレットを開きます。
- 3) スタンプ形状をクリックした中心点から描画する場合は、「中心から描画」チェックボックスをチェックしておきます。
- 4) 規定の縦横比、大きさでスタンプ形状を描画させる場合は、「デフォルト・サイズ」チェックボックスをチェックします。
- 5) 「透明度」のスライダーを調整します。
- 6) お好みのスタンプ形状を選択します。
- 7) 選択したクリップアートのスタンプを押したい所でクリックします。（「デフォルト・サイズ」チェックボックスがチェックされていない場合は、ドラッグして下さい）

注意: 画像上にスタンプ形状を描画した後、そのスタンプ形状を移動させることはできません。このため、スタンプ形状で描画する場合は、ルーラーやグリッドを表示させて、正確な位置を計っておくか、もしくはレイヤーパレットに新規レイヤーを作成しておき、その新規レイヤー上に描画するようにしてください。



形状ツールの使用

形状ツールを使用すると、規定の形状で画像を切り抜くことができます。

形状ツールの使用方法:

- 1) ツールパレットから形状ツールを選択します。
- 2) オプションパレットを開きます。
- 3) 形状ツールで切り抜く際、形状の中心からドラッグして大きさを決めたい場合は、「中心から描画」チェックボックスをチェックして下さい。
- 4) 規定の縦横比、大きさをスタンプ形状を描画させる場合は、「デフォルト・サイズ」チェックボックスをチェックします。
- 5) 「透明度」のスライダーを調整します。
- 6) お好みの切り抜き形状を選択します。
- 7) 画像を切り抜きたい部分をクリック&ドラッグします。(「デフォルト・サイズ」チェックボックスがチェックされている場合は、クリック操作だけで切り抜きできます)



スマッジツールの使用

スマッジツールを使用することにより、乾ききる前の絵の具を指でなぞってぼかしをかけるような効果を演出することができます。スマッジツールでドラッグしはじめたピクセルの色が、ドラッグした方向へ伸ばしていきます。

スマッジツールの使用方法:

- 1) ツールパレットからスマッジツールを選択します。
- 2) オプションパレットを開きます。
- 3) お好みのブラシサイズを選択します。
- 4) ぼかしたい部分をクリックして、その部分の色を引き伸ばしたい方向へドラッグします。



クローンツールの使用

クローンツールを使用すると、画像の特定の部分を同じ画像内の別の場所へ直接複製することができます。

クローンツールの使用方法:

- 1) ツールパレットからクローンツールを選択します。
- 2) オプションパレットを開き、お好みのブラシサイズを選択します。
- 3) Shiftキーを押しながら、複製したいオリジナル画像をクリックします。クリックした地点が参照元となります。

- 4) 同じ画像内または異なる画像ウィンドウ内をドラッグします。先にShiftキーを押しながらクリックした地点の画像が複製描画されます。



レッドアイ除去ツールの使用

レッドアイ除去ツールは、カメラでの撮影時にフラッシュによって人や動物の目が赤目になっているところを補正することができます。

レッドアイ除去ツールの使用方法:

- 1) 赤目になっている写真画像を開きます。
- 2) ツールパレットで赤目除去ツールを選択します。
- 3) オプションパレットを開きます。
- 4) お好みのブラシを選択します。
- 5) 赤目になっている部分をドラッグします。

注意:

- 1) レッドアイ除去をかける前に赤目以外の部分への色調の変化を防いでおきたい場合は、レッドアイ除去ツールでドラッグする前に目の部分を選択ツールで選択範囲に設定しておいて下さい。
- 2) ブラシサイズを調整しながら、レッドアイ除去ツールを使用すると、綺麗に補正することができます。

カラーでの塗りつぶし

単色で広範囲を塗りつぶす必要がある場合、2つの方法が用意されています。1つは、ツールパレットにある「広範囲塗りつぶしツール」を利用する方法、もう一つは、編集メニュー内の「塗りつぶし」コマンドを利用する方法です。

選択範囲を単色で塗りつぶす方法:

- 1) 選択範囲を作成します。
- 2) ツールパレット最下部の描画色をお好みの色に変更します。
- 3) 以下のいずれかを行ないます。
 - ・ 編集メニューから「塗りつぶし」を選択して、「透明度」の設定を行なってから、「OK」ボタンをクリックします。
 - ・ 選択範囲内の画像を消去するためにDeleteキーを押して、ツールパレットから「広範囲塗りつぶしツール」を選択し、オプションパレット内の「透明度」の設定を行なってから、選択範囲内をクリックします。

PhotoStudioには、画像の品質を向上させるための数々のコマンドが用意されています。画像の一部や画像全体のいずれにも以下のような色調補正を行なうことができます。

目次:

1. 自動補正の使用	9-2
2. 明るさ・コントラストの調整	9-2
3. 色合い・鮮やかさの調整	9-3
4. トーンの調整	9-3
5. 均一化の使用	9-4
6. しきい値の使用	9-4
7. アンシャープマスクの使用	9-5
8. 色調補正ギャラリー	9-6

自動補正の使用

自動補正コマンドを使用すると、暗すぎたり、焦点がぼけていたり、色がさめている場合にこれらをすべて自動的に補正することができます。

自動補正の使用方法:

- 1) 強調メニューから「自動補正」コマンドを選択します。自動補正ダイアログボックスが表示されます。
- 2) 「強さ」のスライダーをドラッグして、補正の強弱を調整します。
- 3) 「調整前」の画像の下に表示されている「+」と「-」のボタンをクリックすると、それぞれ拡大・縮小を行なうことができます。
- 4) 画像の異なる部分を確認したい場合は、画像上をドラッグして下さい。
- 5) 「調整後」の画像により、補正結果を前もって確認することができます。
- 6) 補正を掛ける場合は、「OK」ボタンをクリックし、作業を中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。



明るさとコントラストの調整

明るさとコントラストのコマンドを使用すると、画像の明るさとコントラストを調整することができます。

明るさとコントラストの調整方法:

- 1) 強調メニューから「明るさ・コントラスト」コマンドを選択します。「明るさ・コントラスト」のダイアログボックスが表示されます。
- 2) 「明るさ」スライダーを操作して、明るさを調整します。
- 3) 「コントラスト」スライダーを操作して、コントラストを調整します。
- 4) 「調整前」の画像の下に表示されている「+」と「-」のボタンをクリックすると、それぞれ拡大・縮小を行なうことができます。
- 5) 画像の異なる部分を確認したい場合は、画像上をドラッグして下さい。
- 6) 「調整後」の画像により、補正結果を前もって確認することができます。
- 7) 補正を掛ける場合は、「OK」ボタンをクリックし、作業を中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。



注意: 明るさやコントラストを RGB チャンネルごとに個別にかけるときは、「チャンネル」のラジオボタンをそれぞれお好みのものを選択してから「OK」ボタンをクリックして下さい。

色合い・鮮やかさの調整

色合いと鮮やかさの各コマンドにより、画像の色構成や色の強さを調整することができます。

色合いと鮮やかさの調整方法:

- 1) 強調メニューから「色合い・鮮やかさ」コマンドを選択す。「色合い・鮮やかさ」のダイアログボックスが表示されます。
- 2) 画像の色を変えたい場合は、「色合い」のスライダーを調整します。
- 3) 画像の色の強さ、濃さを調整したい場合は、「鮮やかさ」のスライダーを調整します。
- 4) 「調整前」の画像の下に表示されている「+」と「-」のボタンをクリックすると、それぞれ拡大・縮小を行なうことができます。
- 5) 画像の異なる部分を確認したい場合は、画像上をドラッグして下さい。
- 6) 「調節後」の画像により、補正結果を前もって確認することができます。
- 7) 補正を掛ける場合は、「OK」ボタンをクリックし、作業を中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

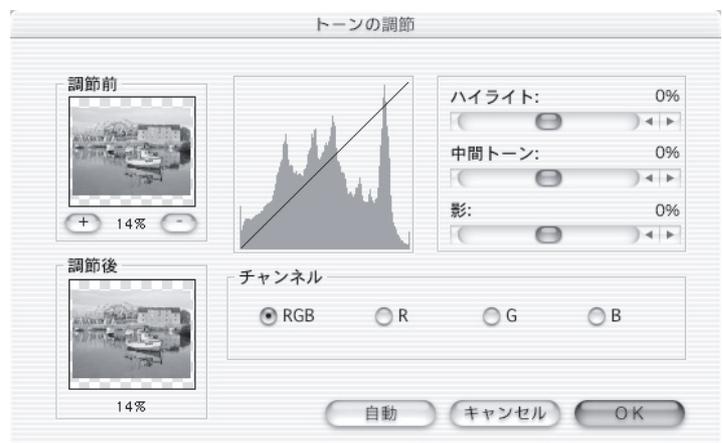


トーンの調節

トーンの調節コマンドを使用すると、画像の明るい部分や暗い部分に影響を与えることなく、中間調の部分の明るさだけを調整することができます。

画像のトーンの調節方法:

- 1) 強調メニューから「トーンの調節」コマンドを選択します。「トーンの調節」のダイアログボックスが表示されます。
- 2) 画像の明るい部分の明るさを調整する場合は「ハイライト」のスライダーを調整します。
- 3) 画像の中間調の明るさを調整する場合は「中間トーン」のスライダーを調整します。
- 4) 画像の暗い部分の明るさを調整する場合は「影」のスライダーを調整します。
- 5) 「調整前」の画像の下に表示されている「+」と「-」のボタンをクリックすると、それぞれ拡大・縮小を行なうことができます。
- 6) 画像の異なる部分を確認したい場合は、画像上をドラッグして下さい。
- 7) 「調節後」の画像により、補正結果を前もって確認することができます。
- 8) 補正を掛ける場合は、「OK」ボタンをクリックし、作業を中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。



注意: 補正を RGB チャンネルごとに個別にかける場合は、「チャンネル」のラジオボタンをそれぞれお好みのものを選択してから「OK」ボタンをクリックして下さい。

均一化の使用

均一化コマンドを使用すると、画像のコントラストや細かな部分を強調することができます。

画像の明るい部分や暗い部分を強調する方法:

- ・ 強調メニューから「均一化」を選択します。

しきい値の使用

しきい値コマンドを使用すると、画像をドラマチック、高コントラスト、白黒画像へ変えることができます。

しきい値コマンドの使用方法:

- 1) 強調メニューから「しきい値」コマンドを選択します。
- 2) 「しきい値」のスライダーを調整して、白部分と黒部分への変換の割合を調整します。
- 3) 「調整前」の画像の下に表示されている「+」と「-」のボタンをクリックすると、それぞれ拡大・縮小を行なうことができます。
- 4) 画像の異なる部分を確認したい場合は、画像上をドラッグして下さい。
- 5) 「調整後」の画像により、補正結果を前もって確認することができます。
- 6) 補正を掛ける場合は、「OK」ボタンをクリックし、作業を中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

注意:

- 1) 「正方形のサイズ」の数値が増加するにつれて、効果が強くなります。
- 2) 「効果」の数値が増加するにつれて、効果が強くなります。
- 3) 「しきい値」の値が減少するにつれて、効果が強くなります。



アンシャープマスクの使用

アンシャープマスクコマンドを使用すると、画像をシャープにする際に細やかな調整を行なうことができます。画像のシャープさを増加させる際に通常のシャープコマンドよりも細やかな修正を行なうことができます。

アンシャープマスクコマンドの使用方法:

- 1) 強調メニューから「フィルタ (シャープ)」のサブメニューの「アンシャープマスク」を選択します。アンシャープマスクのダイアログボックスが表示されます。
- 2) 「正方形のサイズ」のスライドバーを調整して、各ピクセルの周りのサンプリング範囲を設定します。
- 3) 「効果」のスライドバーを調整して、シャープにする強さを設定します。

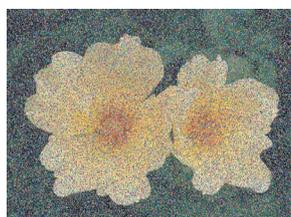


各種強調ギャラリー

以下の画像は、PhotoStudio の様々な強調コマンド中のいくつかを実行したサンプルです。



オリジナル



ノイズの追加



ぼかし(均等)



ぼかし(強)



ぼかし(弱)



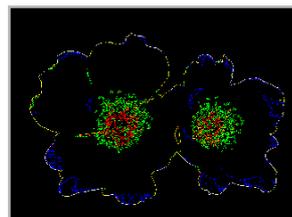
ぼかし(中)



スペックルをとる



均一化



輪郭



ぼかしガウス



対数



中間



最小



最大



ネガ



シャープ(横)



シャープ(弱)



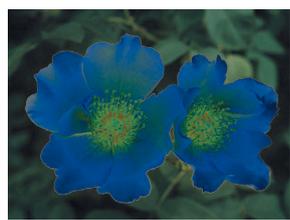
シャープ(縦)



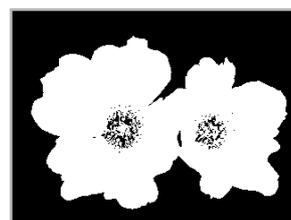
シャープ(中)



シャープ(強)



ソラリゼーション



しきい値



アンシャープマスク

PhotoStudio のフィルタ効果は、それぞれ異なる効果を演出しますが、その調整方法はすべて共通しています。以下の特殊効果の操作を通じて、フィルタ効果の操作性に親しんで下さい。

目次:

1. パノラマ画像の作成 10-2
2. 油絵風効果 10-2
3. モーションぼかし効果 10-2
4. 特殊効果ギャラリー 10-3

パノラマ画像の作成

ステッチコマンドを使用すると、2つの異なる画像をつなげて、パノラマ画像のようにすることができます。

2つの画像をパノラマ画像として合成する方法:

- 1) 合成する2つの画像を開き、片方の画像ウィンドウを選択します。
- 2) 効果メニューから「ステッチ」コマンドを選択します。「ステッチ」のダイアログボックスが表示されます。
- 3) 「第2:」のプルダウンメニューから合成したい画像名を選択します。
- 4) 「位置:」のプルダウンメニューから連結方向を選択します。
- 5) 2つの画像に表示されている丸にプラス印のカーソルをお好みの位置に設定します。
- 6) 画像合成を実行する場合は、「OK」ボタンをクリックし、作業を中止したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。



油絵風効果

油絵コマンドを利用すると、画像を数秒で油絵風に変えることができます。

画像を油絵風に変更する方法:

- 1) 効果メニューから「アート」を選択して、サブメニューから「油絵」を選択します。「油絵」のダイアログボックスが表示されます。
- 2) 「強さ」のスライダーを調整して、効果の適用される度合を設定します。
- 3) 「調整前」の画像の下に表示されている「+」と「-」のボタンをクリックすると、それぞれ拡大・縮小を行なうことができます。
- 4) 画像の異なる部分を確認したい場合は、画像上をドラッグして下さい。
- 5) 「調節後」の画像により、補正結果を前もって確認することができます。
- 6) 効果を実行する場合は、「OK」ボタンをクリックし、作業を中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

モーションぼかし効果

モーションぼかしコマンドを使用すると、特定方向へ画像がぶれた効果を演出することができます。

モーションぼかし効果の使用方法:

- 1) 効果メニューから「モーションぼかし」コマンドを選択します。「モーションぼかし」のダイアログボックスが表示されます。
- 2) 「モーションぼかし」のダイアログボックスで「方向」矢印ボタンで処理方向を指定します。
- 3) 「速度」のスライダーを調整して画像のぶれる強弱を設定します。
- 4) 画像の異なる部分を確認したい場合は、画像上をドラッグして下さい。
- 5) 「調節後」の画像により、補正結果を前もって確認することができます。
- 6) 効果を実行する場合は、「OK」ボタンをクリックし、作業を中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

PhotoStudioの特殊効果ギャラリー

以下の画像サンプルは、PhotoStudioで特殊効果や色調補正を掛けたものです。

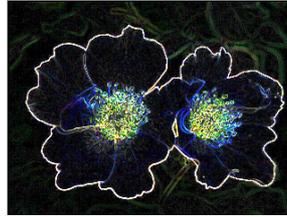
各種効果ギャラリー



オリジナル



油絵



スケッチ



フィルム粒子



はね散り



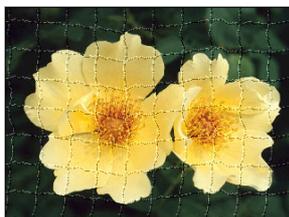
溶解



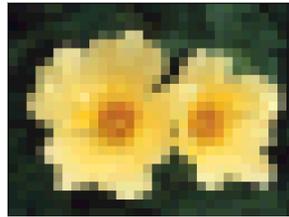
波紋



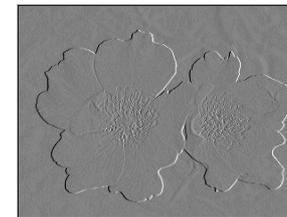
しわ



3Dグリッド線



モザイク



エンボス



モーションぼかし



魚眼



円錐状



球状



渦巻き状



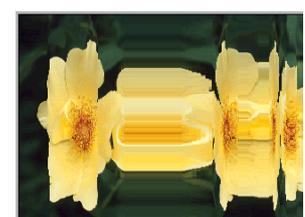
らせん状



円柱状



りぼん



マジックミラー

PhotoStudioのテキストツールでは、システムに組み込まれているあらゆるフォントを異なるスタイル、異なるサイズで入力して、アンチエイリアスや影付けのような加工を施すことができます。

目次:

1. テキストレイヤーの作成 11-2
2. 文字編集 11-3
3. 影付け加工 11-3

テキストレイヤーの作成

テキストが通常の画像レイヤーに入力される度に、新規のテキストレイヤーが作成されます。

新規テキストレイヤーの作成方法:

- 1) ツールパレットからテキストツールを選択します。
自動的にオプションパレットが表示されます。
- 2) 文字を追加したい所をクリックします。レイヤパレットにテキストレイヤーが追加されます。
- 3) オプションパレット内のお好みの書体、サイズを設定します。
- 4) オプションパレット内に文字を入力して、画像上の文字の位置をドラッグして調整します。



注意:

- 1) アンチエイリアスのチェックボックスをチェックしておくと、文字がスムーズな形状で表示されます。反対にこのチェックボックスを解除すると、文字にギザギザが目立ちますが、システムの処理速度を早めることができます。
- 2) 「回り込み」のチェックボックスをチェックしておくと、画像の範囲内で自動的に改行されます。
- 3) さらに別のテキストを追加する場合は、「新規」ボタンをクリックして、新規テキストレイヤーを作成して下さい。

文字編集

PhotoStudio で入力した文字は、フォント、サイズ、色などを自由に修正、変更することができます。また、入力が完了した文字に画像と同様の描画を追加したり、変形加工することができます。

テキストの変更方法:

- 1) レイヤパレットにあるテキストを含むレイヤを選択します。
- 2) オプションパレットにあるフォント、スタイル、サイズを変更します。
- 3) 文字カラーを変更する場合は、ツールパレットの最下部にある描画色切替えボタンで色を指定します。
- 4) 既存のテキストを修正する場合は、レイヤパレット上で修正するテキストを選択しておき、オプションパレット内の文字列を修正します。
- 5) テキストレイヤを新規に追加する場合は、オプションパレットにある「新規」ボタンをクリックします。

注意:

- 1) テキストツールで入力した文字は、画像と同様に描画や色調補正、各種効果のコマンドを適用することができます。
- 2) テキストレイヤ上の文字は、選択ツールで文字の回りを選択することにより、変形加工することができます。

テキストに影付けを行なう

テキストレイヤに影をつけることにより、さらに印象深い文字表現を行なうことができます。

テキストレイヤへの影付けの方法:

- 1) テキストを入力した後、オプションパレットにある「影」ボタンをクリックします。「影の追加」ダイアログボックスが表示されます。
- 2) 影のぼかし度や影の濃さ、影の透明度などを調整します。
- 3) プレビュー画面で影付けの調整の具合を確認して、処理を実行する場合は、「OK」ボタンをクリックし、作業を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。



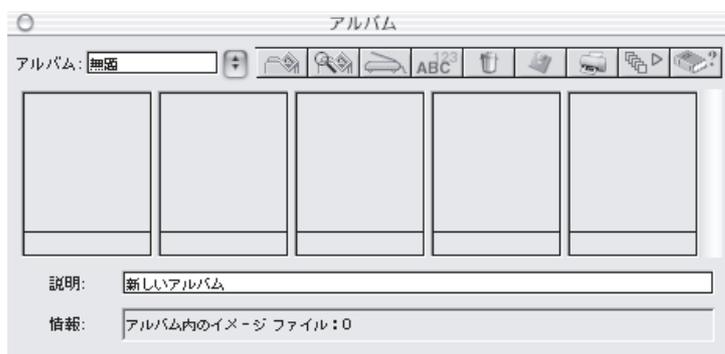
アルバムを作成することにより、写真データに簡単にアクセスすることが可能となり、管理しやすくなります。アルバムでは、画像の保存、表示、復旧、管理が可能で、PhotoStudioのデスクトップ画面へ画像をドラッグ&ドロップするだけで画像を開くことができます。

目次:

1. アルバムの作成 12-2
2. アルバム内での検索機能 12-2
3. アルバムから画像を開く 12-3
4. アルバム内の画像の管理 12-3

アルバムの作成

アルバム作成がアルバムパレットを利用した画像管理の第一歩です。



新規アルバムの作成方法:

- 1) アルバムパレット内の右上隅にあるポップアップメニューから「アルバム」プルダウンメニュー内の「新規アルバム」を選択します。
- 2) 「アルバム」プルダウンメニュー右隣の「追加」ボタンをクリックします。「開く」のダイアログボックスが表示されます。
- 3) 「開く」ダイアログボックス内で画像が保存されているドライブやフォルダを開き、お好みの画像ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。
- 4) アルバム内に選択して開いた画像が追加表示されます。
- 5) 「上書き保存」ボタンをクリックして、アルバム名を入力します。

アルバム内での検索機能

検索ボタンを使用して、ドライブやフォルダのどこに画像があるかすぐに特定したり、選択することができます。

検索ボタンを使用した新規アルバム作成方法:

- 1) アルバムパレットが表示されていることを確認します。
- 2) アルバムパレット右上部のポップアップメニューから「検索」ボタンをクリックします。「検索」ダイアログボックスが表示されます。
- 3) 画像ファイルの名称や日付、サイズなどを入力します。
- 4) ファイル名が不明の場合は、「フォルダ内を見る」ラジオボタンをクリックして、「参照」ボタンをクリックして画像が含まれるフォルダを指定します。



- 5) サブフォルダ内の画像も新規アルバムに追加する場合は、「サブフォルダを含む」チェックボックスをチェックしておきます。
- 6) 「今すぐ検索」ボタンをクリックします。検索結果がダイアログボックス下部に表示されます。
- 7) 新規アルバムとして保存する場合は、「上書き保存」ボタンをクリックして、アルバム名を入力します。

アルバムから画像を開く

アルバムを作成しておく、そこに登録されている画像は簡単に開く事ができるようになります。

アルバムから画像を開く方法:

- 1) アルバムパレットが開いていることを確認します。
- 2) アルバムパレットの右上隅のポップアップメニューからお好みのアルバム名を選択します。
- 3) 単一画像を開く場合は、アルバムパレット上のサムネイルアイコンをダブルクリックします。
- 4) 複数の画像を開く場合は、お好みの画像を Shift キーを押しながら選択して、PhotoStudio のデスクトップ画面へそのままドラッグ&ドロップします。

アルバム内の画像の管理

PhotoStudio のアルバムパレットでは、複数の方法で画像を管理することができます。

- 1) アルバムに登録した画像の作成した日付、ファイルサイズ、画像の大きさを確認したい場合は、アルバムパレット上の画像をクリックします。パレット下部の「情報」フィールドにこれらの情報が表示されます。
- 2) アルバムパレットに登録したい画像を検索して、それらの画像に登録したい場合は、「検索」ボタンを利用します。
- 3) 既存のアルバムに画像を追加登録する場合、「追加」ボタンをクリックします。「開く」ダイアログボックスで追加したい画像を選択して、「開く」ボタンをクリックします。
- 4) アルバムにデジタルカメラやスキャナから直接画像を取り込みたい場合、「取り込み」ボタンを利用します。
- 5) 画像のソート（並び替え）を行ないたい場合は、「並び替え」ボタンをクリックします。
- 6) アルバムから特定の画像を削除したい場合、パレット上のサムネイルアイコンを選択して、「削除」ボタンをクリックします。
- 7) アルバムに変更を加えた後、そのアルバムを保存する場合は「上書き保存」ボタンをクリックします。修正したアルバムを保存しないで、アルバムパレットを閉じようとする、保存されていないことを警告するダイアログボックスが表示されます。
- 8) アルバムにあるサムネイルアイコンを印刷したい場合、「印刷」ボタンをクリックします。「サムネイルの印刷」ダイアログボックスが表示されますので、印刷する項目を選択します。
- 9) アルバム上の画像に一括してマクロを適用したい場合は、「バッチ」ボタンをクリックします。

複数の写真が1枚1枚積み重なった状態を想像してみてください。積み重なった画像を上から見下ろすと、積み重なった一番上の画像を見ることができます。もし、この一番上に重なった画像に穴を開けたとすると、または透明な部分をつくっておいた場合、そのすぐ下に重なっているレイヤ上の画像をその穴や透明部分を通して見ることができます。レイヤパレット上での画像の配列を変えることにより、積み重なった画像の上下を入れ替えることが可能で、画像の表示内容を調整できます。

本章では、レイヤーパレットの使用方法和複数レイヤを使用した画像編集について解説します。

目次:

1. レイヤーについて 13-2
2. レイヤーパレットの使用法 13-2
3. 複数画像間のレイヤー情報のコピーと貼り付け 13-3
4. レイヤーの結合 13-4

レイヤーについて

レイヤー機能をご利用いただく前に以下のようなレイヤーに関する特性をあらかじめご理解いただくことは、非常に重要です。

- 1) レイヤーパレットは、アクティブな画像の内容を表示しているだけなので、複数の画像を開いている状態で、特定の画像の中身を見たい場合は、そのレイヤーをアクティブにする必要があります。
- 2) 一度に編集可能なレイヤーは、1個だけです。特定のレイヤーに対して、画像処理を行なう場合、そのレイヤーをアクティブ（選択する）にする必要があります。レイヤーパレット内のサムネイルアイコンをクリックすることにより、そのレイヤーをアクティブにすることができます。
- 3) 特定のレイヤーがオフ（緑色LEDが消えている状態）の場合、そのレイヤーに含まれる画像は、メイン画面から非表示状態となります。（データは消えてしまっているわけではないので、もう一度、レイヤーをオンにすれば、画像は表示されます）
- 4) 特定のレイヤーがオフになったり、切り取られたり、消去された場合、その下位にあるレイヤーが見えるようになります。最下位レイヤー（レイヤー0）の上位にレイヤーがあり、そのレイヤー全体が塗りつぶされていない状態の場合、塗りつぶされていない部分は、背景色または環境設定の「透明の背景」で設定された透過を示すパターンが表示されます。

レイヤーパレットの使用方法

レイヤーパレットは、PhotoStudioのレイヤーを管理する際に使用します。レイヤーパレットには、編集中の画像ファイルに含まれるすべてのレイヤー情報を含んでいます。レイヤーパレットを使用して、すべてのレイヤーを見たり、編集したり、結合させることができます。

レイヤーパレットの使用方法:

- 1) 画像ファイルを開きます。画像が「レイヤー0」として表示されます。（その画像ファイルの形式が複数のレイヤー情報を含むPSFやPSD形式である場合を除く）
- 2) 新規に透明のレイヤーを追加する場合、レイヤーパレット左上隅のポップアップメニューから「新規レイヤー」ボタンをクリックします。
- 3) レイヤーパレット上のサムネイル画像を選択して、レイヤーパレット左上隅のポップアップメニューから「レイヤーをコピー」ボタンをクリックします。
- 4) レイヤーパレット左上隅のポップアップメニューから「新規レイヤーとしてペースト」ボタンをクリックして、画像を貼り付けます。
- 5) レイヤーを削除する場合、レイヤーパレット上のサムネイル画像を選択して、レイヤーパレット左上隅のポップアップメニューから「レイヤーの削除」ボタンをクリックします。



- 6) レイヤーの順序を変更する場合、レイヤーパレット内のサムネイル画像をドラッグして、その位置を入れ替えて下さい。
- 7) レイヤーの名称を変更する場合、レイヤーパレット内のサムネイル画像をダブルクリックして、「プロパティ」のダイアログボックス内の名称フィールドに名称を入力します。
- 8) レイヤーの透明度を変更する場合、「プロパティ」ダイアログボックス内のスライダーをドラッグして調整します。
- 9) 特定のレイヤーを削除することなく、一時的に隠しておきたい（非表示）場合、サムネイル画像の左下にある緑色LEDの「レイヤー表示」ボタンをクリックします。
- 10) レイヤー上のある画像以外の部分（透明部分）を保護しておきたい場合、例えば、テキストレイヤーで文字の色だけを他の色で塗りつぶしたい場合、「広範囲塗りつぶしツール」を使用する前にあらかじめ、そのテキストレイヤーの「プロパティ」ダイアログボックスにある「制限」のチェックボックスをチェックしておいて下さい。
- 11) 複数のレイヤーで構成された画像を1つのレイヤーにまとめたい場合、レイヤーパレットの左上隅のポップアップメニューから「すべてのレイヤーを結合」ボタンをクリックします。

注意:

- 1) レイヤーパレットをフロート化している場合、レイヤーに対する各コマンドはポップアップメニューではなく、直接、パレット上部に表示されます。

複数画像間のレイヤー情報のコピーと貼り付け

ある画像ウィンドウから別の画像ウィンドウへレイヤー画像を移動させる場合、レイヤーごと画像をコピーして、新規レイヤーとして貼り付けることができます。

レイヤーのコピー&貼り付け方法:

- 1) 2つの画像を開きます。
- 2) 片方の画像内で選択範囲を作成し、「レイヤーをコピー」ボタンをクリックします。
- 3) もう片方の画像を選択します。
- 4) 「新規レイヤーとしてペースト」ボタンをクリックします。先にコピーしておいた画像が新規レイヤーとしてレイヤーパレットに追加表示されます。

注意: オリジナルの画像に様々な色調整や加工を加える前に複製したレイヤー上でそれらの効果を試しておくこと、誤ってオリジナル画像を上書き保存して、修正できなくなるトラブルを未然に防ぐことができます。

レイヤーの結合

複数のレイヤを利用して画像編集した後、各レイヤを1枚のレイヤに結合させてファイル容量を小さくまとめることができます。

2つのレイヤーを結合する方法:

- 1) レイヤーパレット上で最終的に作成する画像に残したいレイヤーの緑色LEDだけが点灯していること(表示状態にあること)を確認します。また、3つ以上のレイヤーが存在する場合は、結合させるレイヤーの間に非表示のレイヤーがある場合は、そのレイヤーを飛び越して2つのレイヤーを結合させることはできません。必ず、緑色LEDが点灯中のレイヤー同士を直接面するように階層をドラッグ操作で調整して下さい。
- 2) レイヤーメニューから「下位レベルに結合」コマンドを選択します。

すべての表示中レイヤーを結合する方法:

- 1) レイヤーパレット上の結合させたいレイヤーの緑色LEDをクリックして、結合させたいレイヤーすべてを表示状態にします。
- 2) 結合させたくないレイヤーは、緑色LEDをオフにして、非表示状態にします。
- 3) レイヤーメニューから「すべて結合」コマンドを選択するか、レイヤーパレット上部にある「すべてのレイヤーを結合します」ボタンをクリックします。

レイヤーを取捨選択して結合する方法:

- 1) レイヤーパレット上で最終的に作成する画像に残したいレイヤーの緑色LEDだけが点灯していること(表示状態にあること)を確認します。
- 2) 画像として残しておきたくないレイヤーは、緑色LEDボタンをクリックして、LEDオフの状態にします。
- 3) 「すべてのレイヤーを結合」ボタンをクリックします。非表示になっているレイヤー画像を消去してもよいかどうかを確認するダイアログボックスが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

マクロ機能は大変有効な機能で、複雑な操作の組み合わせをクリック1回で実行させることができます。この機能により、編集メニュー内の各種コマンドや強調コマンドなどの組み合わせを複数の画像にまったく同様に繰り返して実行することができます。

目次:

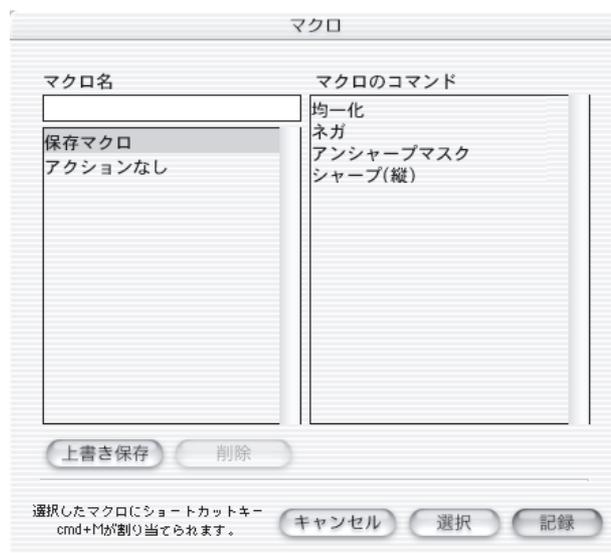
1. マクロの作成 14-2
2. マクロの適用 14-3
3. バッチ処理 14-3

マクロの作成

暗かったり、焦点がぼけてたりする複数の写真に同じコマンドや色調補正、フィルタ効果などをかける場合、一連の画像加工の作業をマクロとして登録することができます。時間を節約することができるだけでなく、複数の画像ファイルに一貫した処理をかけることができます。

一連の操作をマクロへ登録する方法:

- 1) 画像ファイルを開きます。
- 2) コマンドやフィルタ操作などで画像に加工を加えます。例えば、
 - ・ 効果メニューから「魚眼」コマンドを実行する。
 - ・ 強調メニューから「明るさ・コントラスト」コマンドを選択して、お好みの色調に調整する。
- 3) 編集メニューから「マクロの選択」コマンドを選択します。「マクロ」ダイアログボックスが表示されます。
- 4) 最初に「マクロ」ダイアログボックスが表示された際は、マクロ名は特に登録されていません。「マクロのコマンド」のリスト内にそれまでに実行したコマンドやフィルタ名が表示されます。例えば、「魚眼」、「明るさ / コントラスト」などがこのリスト内に表示されます。
- 5) これらのコマンドをマクロとして登録するためには、「保存マクロ」を選択して、その上の「マクロ名」のフィールド内にお好みの名称を入力します。
- 6) 「上書き保存」ボタンをクリックして、「選択」ボタンをクリックします。この操作により、2つのコマンド（魚眼、明るさ / コントラスト）により構成されたマクロが作成されます。
- 7) キーボードから F 8 を入力するか、もしくは編集メニューから「マクロの実行」コマンドを実行すると、作成しておいたマクロが実行されます。



マクロの適用

一旦、複数のコマンドがマクロに登録されれば、同じコマンド類を他の画像に適用することが簡単に行えるようになります。

マクロの適用方法:

- 1) 画像を開きます。
- 2) 編集メニューから「マクロの実行」コマンドを選択します。これにより、登録済みのマクロが実行されます。

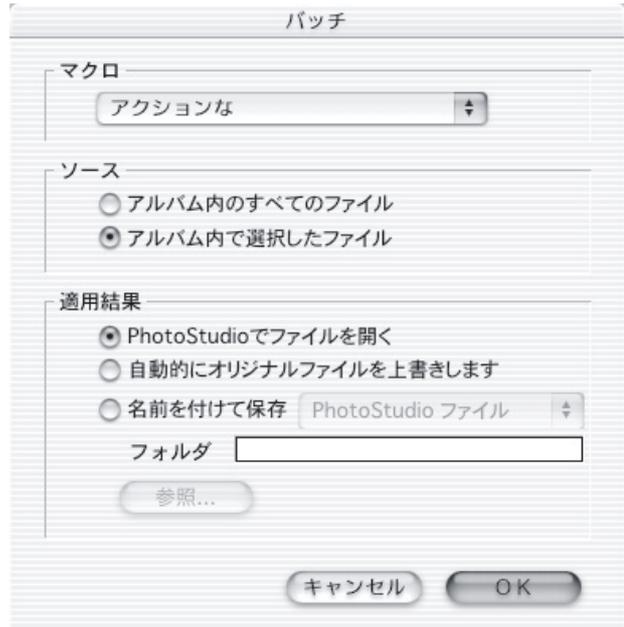
注意: マクロが画像に適用された後、マクロを構成する個々のコマンドは、編集メニューの「元に戻す」コマンドでさかのぼって取り消すことができます。再度、コマンドを実行し直す場合は、「やり直し」コマンドを選択します。

バッチ処理

PhotoStudio では、マクロを使用して、アルバム内にある複数の画像に同じコマンド処理を一度に加えることができます。

バッチ処理方法:

- 1) アルバムパレットにある「バッチ」ボタンをクリックします。「バッチ」ダイアログボックスが表示されます。
- 2) 「マクロ」のプルダウンメニューからお好みのマクロを選択します。
- 3) バッチ処理を適用する画像ファイルを指定するため、「ソース」内のラジオボタンの内、片方を選択します。アルバム内のすべての画像ファイルに適用する場合は、「アルバム内のすべてのファイル」を選択します。アルバムパレット上で選択したファイルだけに適用させる場合は、「アルバム内で選択したファイル」のラジオボタンを選択します。
- 4) 「送信先」の項目のいずれか1つを選択します。
 - ・ マクロを適用した結果となる画像をすべて PhotoStudio のデスクトップ画面に表示させる場合は、「PhotoStudio デスクトップ上のファイルを開く」をチェックします。
 - ・ マクロが適用された後、画像をそのまま自動的に保存させたい場合、「自動的にオリジナルファイルを上書きします」をチェックします。
 - ・ マクロが適用された後、画像をお好みのファイル形式で保存できるように保存ダイアログボックスを表示させる場合、「名前を付けて保存」をチェックします。



本章では、画像の保存方法、及び印刷方法について解説します。

目次:

1. ファイル名やファイル形式を指定して保存 15-2
2. ウェブ用に画像を保存 15-2
3. 画像を印刷 15-3

ファイル名やファイル形式を指定して保存

画像に修正を加えた場合、その画像ファイルは、同じファイル名のまま、上書きで保存することができるほか、ファイル名を変えて別ファイルとしても保存することができます。「名前を付けて保存」コマンドを利用すると、そのファイル形式を変更することも可能です。

名称やファイル形式を変更して保存する方法:

- 1) ファイルメニューから「名前を付けて保存」コマンドを選択します。「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。
- 2) 現在のフォルダを示すプルダウンメニューから保存先となるフォルダを選択します。
- 3) 「名前:」のフィールドをクリックして、ファイル名を入力します。
- 4) 「フォーマット:」のプルダウンメニューからお好みのファイル形式を選択します。
- 5) 「保存」ボタンをクリックすると、画像ファイルを新しい名称及び形式で保存することができます。作業を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

注意: 選択した「ファイルの種類」により、画像ファイルが保存される前に圧縮が必要な場合があります。選択した画像の種類 (例えばJPG) の圧縮率を調整する場合は、「クオリティ」のスライダーをドラッグして下さい。数値が高くなればなるほど、画像品質も高くなります。



ウェブ用に画像を保存

JPGは、ウェブで画像を表示するために最も頻繁に使用されるファイル形式です。非常に高い圧縮率を持ち、ファイル容量を小さく抑えることができます。但し、圧縮率を高くすれば、ファイル容量は小さくなりますが、その分、画像品質は低下します。



ウェブ用に画像を保存する方法:

- 1) ファイルメニューから「名前を付けて保存」コマンドを選択します。「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。
- 2) 現在のフォルダを示すプルダウンメニューから保存先となるフォルダを選択します。
- 3) 「名前:」のフィールドをクリックして、ファイル名を入力します。
- 4) 「フォーマット:」のプルダウンメニューから「*.JPG」(JPEG形式)を選択します。

- 5) 「画質：」のスライダーを調整して、JPEG 圧縮率を設定します。数値を高くすれば、それに応じて画像の品質も向上します。
- 6) 「保存」ボタンをクリックします。
- 7) 保存したファイルを改めて開き、画像の品質を確認します。品質やファイルサイズを再度調整したい場合は、オリジナルの画像ファイルに上記ステップを繰り返して行って下さい。

画像を印刷

PhotoStudio は、印刷時に画像をカスタマイズするためのオプションをいくつか用意しています。タイトルやフレームを加えたり、解像度や印刷位置を調整することができます。

画像ファイルの印刷方法:

- 1) ファイルメニューから「印刷」コマンドを選択します。「印刷」ダイアログボックスが表示されます。
- 2) 「プリンタ設定」ボタンをクリックして、プリンタの印刷準備ができているかどうかをご確認下さい。プリンタの設定がすべて完了したら、「OK」ボタンをクリックします。
- 3) お好みに応じて、下記の設定を行ないます。
 - ・「タイトルの追加」チェックボックスを選択すると、印刷用紙のお好みの位置にタイトル文字を入力することができます。
 - ・「テキストを編集するには、...」の部分を実行するには、ダブルクリックします。「テキストの編集」ダイアログボックスが表示されます。お好みの文字を入力して、「フォント」ボタンをクリックして、タイトル文字の書体やサイズを指定して下さい。
 - ・「枠の追加」チェックボックスを選択すると、ページに細い枠線を追加することができます。
 - ・「タイトルを中央に配置」チェックボックスを選択すると、タイトル文字が用紙の中央に移動します。
 - ・「Photo を中央に配置」チェックボックスを選択すると、画像が用紙の中央に移動します。
 - ・スライダーをドラッグすると、画像の解像度を調整することができます。解像度を上げると、用紙内でのサイズが小さくなり、解像度を下げると、用紙内でのサイズが大きくなります。
 - ・「印刷部数」のフィールドに数値を入力して印刷する枚数を指定します。
- 4) 「印刷」ボタンをクリックすると、印刷を開始することができます。作業を中止したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

